

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団

# 令和元年度事業報告書目次

	ページ
I. 概 況	1
II. 施設別の概要	
秋田県北部老人福祉総合エリア	8
秋田県中央地区老人福祉総合エリア	10
秋田県南部老人福祉総合エリア	12
高清水園	18
秋田県心身障害者コロニー	20
由利本荘地域生活支援センター	23
阿桜園	25
やまばと園	27
障害者支援センター御所野	29
秋田県点字図書館	31
【資料】	
1. 組織	33
2. 施設の概要	34
3. 施設のサービス利用状況	35
4. 役員等	37
5. 会議等	38
6. 職員	40
7. 研修の実施状況	42
8. 苦情解決処理状況	55
9. 虐待防止委員会の開催状況	57
10. ハイクオリティサービス推進システム	59
11. 地域密着型サービス外部評価事業	59

## I 概況

当事業団の運営に当たっては、「5カ年経営計画」（平成28～32年度）に基づき、利用者ニーズを踏まえたサービスの提供に引き続き努めた。

また、こうしたサービスの提供を担う人材の確保を図るため、勤務地を限定した職員採用を新たに実施したほか、職員の待遇改善に取り組んだ。

### 組織管理

#### 1 経営体制の強化

平成29年度から本格的に実施された社会福祉法人改革を踏まえ、経営組織のガバナンスの強化や透明性の高い運営に努めた。

##### ① 県有施設等の経営

秋田県から無償貸与された施設、指定管理している施設等について、適正な経営に努めるとともに、各老人福祉総合エリアの経営状況の検証し、次期指定管理について検討を行った。

南部老人福祉エリアの養護・軽費老人ホーム・老人専用マンションの3施設の譲渡について、秋田県と協議してきたが、県では譲渡しない方針を決定した。今後の施設運営について、県及び横手市と協議することとした。

##### ② 自主設置施設の経営

入所施設としては初の自主施設となる障害者支援センター御所野（定員40名）を平成31年4月に開設し、生活介護を主としたサービス提供に取り組んだ。

開設3年目の由利本荘地域生活支援センターでは、利用者のニーズを踏まえ、2つ目の放課後等デイサービス事業所を開設した。

##### ③ ガバナンスの強化

評議員会、理事会及び施設長会議を開催し、事業計画、予算、決算など重要事項について審議した。

区分	開催日	主な決議・協議事項
評議員会	令和元年6月26日	・平成30年度事業報告及び決算 ・理事及び監事の選任 ・会計監査人の選任及び報酬
理事会	令和元年6月3日	・平成30年度事業報告及び決算 ・理事及び監事の選任 ・会計監査人の選任及び報酬 ・就業規則の一部改正等
	令和元年6月26日	・理事長の選定
	令和元年8月26日	・職員給与規則の一部改正 ・有期契約職員就業規則の一部改正等
	令和元年10月25日	・令和元年度第1回補正予算 ・会計監査人の公募等

区 分	開催日	主な決議・協議事項
理事会	令和2年2月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止体制の強化</li> <li>・経営改善の検討を行うチームの設置</li> <li>・令和2年度人材確保・給与改革</li> <li>・聴覚障害者支援センターの運営受託</li> <li>・組織規則の一部改正等</li> </ul>
	令和2年3月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスへの対応</li> <li>・組織規則の一部改正</li> <li>・令和元年度2次補正予算</li> <li>・令和2年度事業計画</li> <li>・令和2年度当初予算等</li> </ul>
	令和2年3月25日 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阿桜園屋根外壁改修工事契約</li> </ul>
施設長会議	7回開催（5月、6月、8月、10月、11月、1月、3月）	
経営会議	1回開催（令和2年1月23日）	

#### ④ 監査体制の強化

会計監査人及び監事による監査のほか、本部職員による内部監査を実施した。

区 分	実施状況	内 容
監事の監査	令和元年5月30日	平成30年度事業執行及び決算
会計監査人の 監査	令和元年5月7日～10日	各施設（会計拠点区分）の期末監査
	令和元年10月15日 ～2年1月15日	各施設（会計拠点区分）の期中監査
内部監査	令和元年9月4日～26日	事務局及び全施設の会計処理

#### ⑤ 経営改善検討チームの設置

職員が経営参画できる仕組みとして、新たな事業展開や業務改善等を検討するチームを経営会議の下に設置した。

#### ⑥ コンプライアンスの徹底

新たにハラスメント防止のための規程を整備し、相談窓口となる相談・苦情処理委員の設置や相談受付の多様化など体制を強化した。

利用者への虐待等を行った職員に対する懲戒処分基準を明確化した規程を整備し、虐待を未然に防ぐ体制の強化に努めた。

#### ⑦ 危機管理対策の強化

非常時・緊急時等のメール一斉送信システムを活用し、緊急時の連絡体制の強化を図ったほか、天候等による自然災害等の予防喚起を行った。

また、非常用備蓄食料、資器材等を計画的に整備し、災害時において利用者の安全の確保及び事業の継続が図られるよう体制の整備に努めた。

## 事業管理

### 2 質の高いサービス提供

利用者の人権擁護の指針となる虐待防止マニュアルの改正、利用者の重度化等に対応したサービス提供体制の充実、相談体制の強化などに取り組むとともに、既存の福祉制度では対応が難しい課題に対し、地域の関係機関と連携した取組を進めた。

#### ① ハイクオリティサービス推進システム（まごころシステム）の推進

福祉サービスの向上と危機管理を基軸に利用者本位のより高いサービスを提供する事業団独自のシステムの着実な運用を図り、ヒヤリ・ハットや苦情解決処理報告に基づき改善に努めた。

#### ② 権利擁護の取組

心身障害者コロニーの虐待疑い事案を踏まえて、利用者の人権擁護の指針となる虐待防止マニュアルを改正し、各施設の虐待防止委員会の機能強化、全職員を対象とした自己点検結果の改善（年1回→2回以上）、人権意識を高める研修の充実等に取り組むこととした。

また、新たに虐待防止責任者会議を開催し、内部監査体制を見直すなど虐待防止の取組を強化することとした。

#### ③ 利用者の高齢化・重度化に対応した支援

障害者支援施設の利用者の重度化に対応するため、障がい特性に応じたケアや保健・医療機関と連携した取組を行うとともに、介護ロボットやICTを導入するための検討を行った。

##### ○ 高清水園

自閉症や強度行動障がいのある利用者の得意なことや強み、特性などを的確に把握し、必要な配慮やサポートを具体的に確認する評価ツールを活用し、利用者一人ひとりの障がい特性に合わせた支援に努めた。

##### ○ 阿桜園

横手市から健康相談員を招聘し、高齢者向け体操の指導を得ながら、医療的ケアの充実を図るとともに、利用者の身体状況に応じた福祉機器の導入について検討を進めた。

##### ○ やまばと園

医療機関の理学療法士が2ヶ月に1回来園し、利用者の日常生活における心身状況に合わせて作成された訓練プログラムにより、施設内でできる運動等に取り組む、機能維持・低下防止に努めた。

#### ④ 強度行動障がいに対応したサービスの充実

心身障害者コロニーでは、強度行動障がいに対応した専用の入所サービスを平成31年4月から開始するとともに、県内におけるモデル的取組を目指し、事業団の他施設職員、他法人職員の研修の受け入れを段階的に進める検討を行った。

また、行動障がいのある女性利用者を受入れるための検討を行った。

## ⑤ 相談支援体制の充実

計画相談やモニタリング実施標準期間の見直し（施設入所1年→6月等）に対応するため、相談員の増員など相談支援体制の強化を図った。

- 相談支援事業所の統合 高清水園+旧更生訓練センター
- 由利本荘地域生活支援センター 相談員6人 → 8人

## ⑥ 放課後等デイサービスの提供

由利本荘地域生活支援センターでは、利用希望に切れ切れていない状況にあったことから、放課後等デイサービスを提供する第2事業所を平成31年4月から開設したほか、高清水園ではサービス利用者が増加した。

## ⑦ 地域における公益的な取組

地域の社会福祉協議会やNPO法人と連携し、施設が有する専門性を地域に提供することができるよう引き続き取り組んだ。

- 事務局  
フードバンク、制服リユース等を行うNPO法人に、食糧支援物資の運搬回収、イベント手伝いの他、新規事業である親子食堂の立ち上げ支援を行った。
- 心身障害者コロニー  
由利本荘市社会福祉協議会等と連携し、地域で暮らす障がい者や引きこもりがちな方々が交流できる場を提供するとともに、由利本荘市の中学・高校生に職場体験学習の機会を提供し、障がいや福祉の理解と関心の増進を図った。
- 由利本荘地域生活支援センター  
未就学児がいる家庭を対象に、発達に関する不安や悩みについて相談する機会を提供するため、「のんびりカフェ」を開催した。
- 阿桜園  
高齢者や障がい児者、ひきこもり状態にある方等を対象に陶芸、散策、調理体験、健康体操等のイベントを開催し、余暇活動を支援をした。
- やまばと園  
湯沢市社会福祉協議会等と連携し、福祉サービスを利用しておらず、家族以外との交流がない方を対象に創作活動、調理等を行う交流サロンを開催した。
- 点字図書館  
市民を対象とし、「プチッと点字体験」を通じた点字への興味関心及び障がいの理解推進を図った。

## ⑧ 利用者の満足度調査の実施

各施設による満足度調査等の実施により、幅広く苦情、要望等を受け付ける体制を整え、受け付けた苦情等には迅速に対応し、職員への周知、申出人及び各施設に設置する第三者委員への報告を行った。

## 財務管理

### 3 財務基盤の強化

より質の高い取組を評価するサービス報酬改定等を踏まえ、専門性の高い職員配置による加算等の取得により収益の確保を図るとともに、スケールメリットを生かした物品調達等による経費の節減に努めた。

#### ① 自立経営に向けた財源確保

中期的な経営状況をシミュレーションし、県から譲り受けた高清水園、阿桜園の改築など施設改築や新たな事業の展開に必要な資金の確保に努めた。

単位：百万円

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業展開積立金	当期積立	311	405	386
	当期取崩	▲74	▲824	▲16
	累計額	1,819	1,400	1,770

#### ② 福祉サービス等充実による収入増

利用者の高齢化・重度化に対応した人員配置体制を確保するとともに、介護福祉士等による質の高いサービスを提供し、福祉専門職員配置等加算の取得などにより収入増に努めた。

#### ③ 計画的な施設・設備の修繕等

秋田県建築住宅センターから専門的なアドバイスを得ながら、老朽化している建物や設備の調査を行い、計画的な建物設備の修繕等に取り組んだ。

主な修繕工事等

単位：千円

施設名	内 容	契約額
高清水園	東棟ホールトップライトの改修	5,962
阿桜園	屋根の防水改修	39,614
心身障害者コロニー	白光支援課の男子トイレの改修	6,050
	診療所（医科）レントゲンシステムの更新	12,528
	診療所（歯科）レントゲンシステムの更新	6,372

#### ④ 適切な予算管理及び会計処理

会計監査人及び監事の監査や指導を踏まえ、会計処理の改善を図った。

また、施設が即応できるよう業務の簡略化を進めるとともに、事務局を含む全施設を対象に内部経理監査を行い、適切な予算管理体制の構築に努めた。

#### ⑤ 共同契約・集中調達の拡大

各施設が消費する灯油・精米の共同単価契約を行ったほか、Windows 7のサポート終了に伴う業務用パソコンの更新に際し、必要台数を取りまとめ一括した購入契約を締結し、スケールメリットを生かした物品調達を行った。

## 人事管理

### 4 人材確保及び養成

サービス提供を担う人材確保を図るため、就職説明会等への積極的な参加、勤務地を限定した職員採用の導入したほか、職員の待遇改善に取り組んだ。

また、新たにサービス管理責任者を対象とした研修や職員提案型による研修を実施するなど専門性を高めるための取組を強化した。

#### ① 人材の確保

専門性の高い人材を確保するため、県内外で開催される就職説明会や大学等を訪問し職員の募集強化に努めた。

また、事業団に対する理解を深めてもらうため、県内の高校にPR活動を行うとともに、中学・高校生等を対象とした職場見学を実施した。

#### ② 正職員の確保

高卒者等では転勤を避けたい志向が強いことを踏まえ、勤務地を3地区（秋田市、由利本荘市、横手市・湯沢市）に限る地域職の採用試験を導入した。

福祉職については、入所施設の正職員配置比率50%を目標に定年退職者を上回る16人を採用し、3人の増員となった。

単位：人

区分	令和元年度採用	令和元年度退職A	令和2年度採用B	比較B-A
福祉職	14	13	16(6)	3
	大学卒 6	定年退職 9	大学卒 4	
	短大卒 2	早期退職 4	短大卒 1	
	高校卒 0		高校卒 4(2)	
	職務経験 6		職務経験 7(4)	
看護師	短大卒 3	定年退職 0	短大卒 1	1
合計	17	13	17(6)	4

※令和2年度採用（）は地域職採用者数

#### ③ 契約職員の待遇改善

入所施設の支援員の確保と職場定着を図るため、国の特定処遇改善加算を活用し、夜間勤務を行う職員を重視した賞与の引上げを行った。

例 経験・技能・夜勤有 3万円（平成30年度）→ 20万円（令和元年度）

#### ④ 継続雇用職員の活用

定年退職後もキャリアを生かした職務として、新たにサービス管理責任者や相談支援専門員などの専門職への配置を行い、経験・ノウハウを生かした多様な働き方が選択できる環境づくりを進めた。

#### ⑤ 職員提案制度の活用

職員の提案に基づき、業務改善を図った。

- ・大規模災害を想定した専門家による研修 → 法人研修で実施
- ・法人研修の内容を周知 → グループウェアにレジュメを掲載
- ・通勤手当と重複する旅費の調整 → 旅費規則を見直し

## ⑥ 専門性を高める職員研修

新たにサービス管理責任者を対象とした研修や職員提案型（職員が研修先を提案）による先進地等への派遣研修を実施し、さらなる資質の向上を図った。

区 分	研修名	回 数	受講者
階層別研修	新任職員研修（平成31年度新規採用職員等）	2回	37人
	管理職員研修（労務管理研修）	1回	22人
	中堅等職員研修（OJT研修等）	2回	98人
特別研修	相談支援連絡会	2回	33人
	ケアマネジメント研修	2回	46人
	ペアレントトレーニング研修	1回	14人
	サービス管理責任者等連絡会	1回	17人
	実践発表会	1回	61人
一般研修	職員提案型研修（北海道・宮城県・富山県）	各1回	15人
	防災研修	1回	23人
	採用予定者に対する事前研修	1回	17人

## ⑦ 強度行動障がい支援等のスキルアップ

県から受託した強度行動障害支援者養成研修や虐待防止・権利擁護研修を実施し、広く県民の障がい福祉の理解に寄与するとともに、事業団独自に強度行動障害支援者養成研修のフォローアップ研修を開催した。

また、国が行う研修に職員を派遣したほか、支援アドバイザーの指導・助言を受けながら障がい特性の理解や援助技術等の習得に努め、職員のスキルアップを図った。

研修名	回 数	受講者
強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】	1回	121人
強度行動障害支援者養成研修【実践研修】	1回	108人
障害者虐待防止・権利擁護研修	1回	118人
強度行動障害支援者養成研修フォローアップ研修	1回	85人

## ⑧ 資格取得の奨励

介護福祉士等の資格取得への取組を奨励するなど職員の自己啓発を進め、自己研鑽及び業務遂行能力の一層の高揚を図った。

- 新規資格取得者
  - ・介護福祉士 5人
  - ・社会福祉士 1人
  - ・精神保健福祉士 1人

## Ⅱ 施設別の概要

### 秋田県北部老人福祉総合エリア

#### ① 利用者増に向けたPR活動の展開

- ・秋田県内外へのPRとして大館能代空港ターミナルビルへ各エリアのパンフレットを設置したほか「ニプロハチ公ドーム」（大館樹海ドーム）へ看板を設置した。また、スポーツ団体の宿泊客獲得のため県北各高校へ「団体宿泊優待プラン」の営業活動を行った。
- ・広報面については、北部エリアの地元である大館市十二所地区の広報誌「十二所だより」に毎月1回、エリアの各種事業などの情報を掲載したほか、同様に、大館市の広報誌へ各種教室開催の案内を掲載した。特に、老人クラブ等の団体客獲得に関しては、新規開店したテナント（かづの庵）と協働し、宴会プラン等のメニューを作り、集客に努めた。

#### ② 教室の企画、開催

- ・趣味・生きがい活動の支援として各種教室を企画、開催した。
- ・常勤講師による陶芸・木工教室を定期開催した。（週3回）
- ・外部講師を招聘し、随時開催の教室を開催した。  
園芸教室・茶の湯教室・健康づくり教室・料理教室等。
- ・イベント時に親子向けの創作教室等を開催し、参加者からは好評を得ることができた。  
（フラワーカップケーキ・パステル和みアート・バルーンアート）

#### ③ イベント等の開催

- ・お盆期間に「20周年記念イベント」を開催したほか、恒例事業である「お客様感謝祭」を2月に開催し、いずれも大盛況で、それぞれの来館者数が約3,000名となった。
- ・その他、県社会福祉協議会と共催による「進路ガイダンス・高校生福祉セミナー」を継続開催したほか、高齢者の健康づくり事業として、グラウンド・ゴルフ大会、ユニカール大会（2回）を実施し、さらに、「県の記念日」、「敬老の日」に無料開放を実施した。

#### ④ 世代間交流等

- ・世代間交流事業として、大館市内保育園児等と老人クラブの方々によるサツマイモの苗植えと収穫作業を行った。

## 利用状況

### 1. コミュニティセンターの利用状況

単位：人

区 分		年 間 合 計 (人)		比較増減
		令和元年度	平成30年度	
有料	休 憩	25,009	24,034	975
	宿 泊	2,392	2,356	36
	会 議 室 等	3,427	3,061	366
	屋内運動広場	1,298	1,626	△ 328
	テニスコート	1,185	1,248	△ 63
	各種自主事業等	1,586	1,549	37
	小 計	34,897	33,874	1,023
無料	屋内運動広場	20,312	20,633	△ 321
	屋外運動施設等	1,552	1,418	134
	各種自主事業等	13,068	12,315	753
	視 察 等	190	123	67
	小 計	35,122	34,489	633
合 計		70,019	68,363	1,656

### 2. 各種教室・講座の利用状況

単位：人( )内は開催回数

区 分		令和元年度	平成30年度	比較増減	
生きがい活動	有料	陶 芸	725 ( 153 )	694 ( 155 )	31 ( △ 2 )
		木 工	327 ( 131 )	545 ( 138 )	△ 218 ( △ 7 )
		園 芸	14 ( 2 )	43 ( 6 )	△ 29 ( △ 4 )
		茶 道	80 ( 12 )	87 ( 12 )	△ 7 ( 0 )
		その他の教室	440 ( 45 )	180 ( 15 )	260 ( 30 )
		小 計	1,586 ( 343 )	1,549 ( 326 )	37 ( 17 )

区 分		令和元年度	平成30年度	比較増減	
健康づくり	有料	スポーツ大会等	317 ( 3 )	344 ( 3 )	△ 27 ( 0 )
		小 計	317 ( 3 )	344 ( 3 )	△ 27 ( 0 )
交流活動	無料	交流イベント等	8,141 ( 16 )	7,217 ( 11 )	924 ( 5 )
		小 計	8,141 ( 16 )	7,217 ( 11 )	924 ( 5 )
その他	無料	映 写 会	2,374 ( 168 )	2,603 ( 169 )	△ 229 ( △ 1 )
		無 料 開 放	336 ( 2 )	441 ( 2 )	△ 105 ( 0 )
		ポイントカード等	1,900 ( 12 )	1,710 ( 12 )	190 ( 0 )
		小 計	4,610 ( 182 )	4,754 ( 183 )	△ 144 ( △ 1 )
合 計		13,068 ( 201 )	12,315 ( 197 )	753 ( 4 )	

### 3. 利用状況の推移

単位：人

年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
年間利用者数	78,964	74,515	56,361	68,363	70,019

## 秋田県中央地区老人福祉総合エリア

### ① 利用者増に向けたPR活動の展開

- ・11月3日のエリア感謝祭は、昨年同様秋田市南消防署に協力を依頼し、ふわふわ遊具やマジックショーなどの無料イベントをメインに開催した。チラシを御野場、四ツ小屋、河辺地区に新聞折込実施。御所野幼稚園・ごしょの保育園・各サービスセンター・秋田銀行等に配布しPRを図り、当日は延べ3,630名の参加があった。
- ・協賛イベントとして、毎月第3木曜日にトップスポーツコンソーシアム秋田と小学校低学年向けにスポコンパークを、また年5回多目的ホールにてミニ四駆団体とのミニ四駆大会を開催した。
- ・宿泊及び休憩入浴利用増に向けて、平日宿泊割引プランを6、7、1、2月に、毎月第2水曜日には休憩入浴割引デーを実施した。また、パンフレットを市のサービスセンター・コミュニティセンターに配布したり、県内11ヶ所の道の駅に設置した。団体利用に向けて、市内高校へ訪問し、市外の高校には郵送した。
- ・エリア便りを各市民サービスセンター、御所野町内会（15町内）に毎月配布を実施するとともに、スポーツマガジン及びフリーペーパーに広告及び施設紹介を掲載した。また、市広報、市観光イベントHP、新聞HPにイベント（体験教室等）を掲載した。

### ② ニーズに基づいた創作教室の企画と開催

- ・地域住民の健康づくりや生きがい活動の支援として、創作教室（7教室）、水泳教室（シェイプ・一般）を通年開催しているほか、7、8月には親子体験教室として陶芸・七宝焼を、1月には七宝焼を開催した。
- ・健康づくり事業の一環として、年2回「笑い」をテーマに、秋田大学落語研究会の落語・漫談を休憩入浴利用者に披露し甘酒をふるまった。
- ・世代間交流事業として、保育園児・ウエルハウス入居者・地域住民の方々によるさつまいもの苗植え及び収穫を行い、交流を深めた。
- ・「県の記念日」と「敬老の日」に休憩入浴の無料開放を行い、施設のPRと利用促進に努めた。

### ③ サービスの向上

- ・アンケート用紙を館内3カ所に設置し、ご意見ご要望に対して回答を掲示し、より利用しやすい施設運営に努めた。

### ④ 設備等の維持管理

- ・設備の老朽化が見られるため、定期的な点検による安全性の確保を行い、利用者に対しサービス低下にならないよう努めた。

## 利用状況

### 1. コミュニティセンターの利用状況

※単位：人

区 分		年 間 合 計 (人)		比較増減
		令和元年度	平成30年度	
有 料	休 憩	39,558	42,066	△ 2,508
	宿 泊	2,650	3,188	△ 538
	会 議 室 等	25,279	24,913	366
	屋内運動広場	23,306	24,194	△ 888
	緑地運動広場	3,407	2,416	991
	陶 芸 室 等	2,786	2,751	35
	プ ー ル	32,438	34,597	△ 2,159
	休憩&プールセット	706	1,030	△ 324
	各種自主事業等	7,165	8,341	△ 1,176
	小 計	137,295	143,496	△ 6,201
無 料	屋内運動広場	18,477	20,960	△ 2,483
	屋外運動施設等	245	231	14
	各種自主事業等	1,089	1,311	△ 222
	視 察 等	18	38	△ 20
	小 計	19,829	22,540	△ 2,711
合 計		157,124	166,036	△ 8,912

### 2. 各種教室・講座の利用状況

※単位：人（ ）内は開催回数

区 分		令和元年度	平成30年度	比較増減	
有 料	生 活 活 動	陶 芸	551 ( 50 )	624 ( 96 )	△ 73 ( △ 46 )
		フ ラ リ ー	114 ( 53 )	133 ( 12 )	△ 19 ( 41 )
		茶 道	178 ( 21 )	193 ( 24 )	△ 15 ( △ 3 )
		その他の教室	101 ( 17 )	193 ( 5 )	△ 92 ( 12 )
		小 計	944 ( 141 )	1,143 ( 137 )	△ 199 ( △ 8 )
	健 康 活 動	太 極 拳	359 ( 28 )	402 ( 36 )	△ 43 ( △ 8 )
		ボールEX	423 ( 70 )	444 ( 32 )	△ 21 ( 38 )
		はっらっくらぶ事業	849 ( 36 )	861 ( 36 )	△ 12 ( 0 )
		フラダンス	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
		健康づくり事業	423 ( 58 )	397 ( 48 )	26 ( 10 )
		小 計	2,054 ( 192 )	2,104 ( 152 )	△ 50 ( 40 )
	そ の 他	イベント等	4,167 ( )	5,094	△ 927 △ 927
		小 計	4,167 0	5,094 0	△ 927 △ 927
	合 計		7,165 ( 333 )	8,341 ( 289 )	△ 1,176 ( 44 )

有 料	水泳教室	537 ( 127 )	3,639 ( 548 )	△ 3,102 ( △ 421 )
合 計		537 ( 127 )	3,639 ( 548 )	△ 3,102 ( △ 421 )

区 分		令和元年度	平成30年度	比較増減	
そ の 他	無 料	映 写 会	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
		ポイントカード	311 ( 311 )	323 ( 323 )	△ 12 ( △ 12 )
		無料開放等	503 ( 28 )	605 ( 2 )	△ 102 ( 26 )
		ボランティアルーム	275 ( 23 )	383 ( 24 )	△ 108 ( △ 1 )
合 計		1,089 ( 362 )	1,311 ( 349 )	△ 222 ( 13 )	

### 3. 利用状況の推移

※単位:人

年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
年 間 利 用 者 数	161,517	169,052	159,503	166,036	157,124

## 秋田県南部老人福祉総合エリア

### 【コミュニティセンター】

#### ① 職員の資質向上

- ・法人研修をはじめ、事業所内外の研修に多くの職員が参加した。介護技術等の専門的な技能の向上のみならず、聴く力、伝える力、コミュニケーション力等、一般的な知識や接遇マナーの向上を図ることによって、利用者へのサービス提供に寄与した。

#### ② エリア機能の可能性とニーズのサーチ

- ・エリア機能リサーチワーキンググループを立上げ、年4回会議を開催した。リサーチの仕方や内容等を検討し、多くの意見が出された。その中でホームページを活用したWebアンケートに行き着き、1月から公開している。今後も公開を継続する。

#### ③ 継続可能な事業運営の検証

- ・管理事業課会議において、事業の見直しを検討した。主に利用者数の少ない事業や目的に着目し検証を行った。その結果、30事業中、1事業（テニス教室）を廃止、1事業（移動講座）を年2回の開催から1回に縮小した。

#### ④ 施設設備のチェックと改修

- ・職員による定期的なチェックと修繕計画に基づく修繕を実施し、利用者等へ安心できる施設利用の提供に努めた。
- ・小規模、大規模な修繕に関しては、県や事業団と協議し必要な修繕を実施した。

### 【養護老人ホーム】

#### ① 利用者のQOL向上への取組

- ・在籍数は、入所が6名に対し、利用者の高齢化及び病気等による退所が9名であり、48名から45名に減っている。
- ・認知症傾向の利用者が増加しており、利用者及び家族の意思を尊重した個別支援計画を作成し、利用者の満足度に繋げている。
- ・ホーム内で定期的実施している各種クラブ活動やレクリエーション活動、横手市の健康の駅出前健康教室等を通して、利用者個々の心身機能の維持を図った。

#### ② 住環境の整備

- ・利用者の身体状況に応じ、ケアマネージャーや福祉用具業者との連携強化を図り、安心安全な生活を送る上で、必要な手すりの設置や住環境の整備を図った。
- ・利用者の下肢筋力の低下等により、車いすや歩行器を利用する方が増えたため、食堂テーブルを車いす対応テーブルに更新した。

### ③ 健康管理

- ・感染症予防対策の徹底を図るため、感染症対策委員会を定期的開催し、委員会での決定内容について利用者会議等で周知を図った。
- ・ヒヤリハット報告で多数を占める転倒に関して、アクシデントにつながるインシデントを重要視したケース検討を行い、転倒予防強化を図るとともに、アセスメントスコアを活用した危険度等を算定した。

## 【軽費老人ホーム】

### ① 特定施設入居者生活介護事業のサービス水準の維持向上

- ・利用者数については、利用者の高齢化及び介護度の重度化、認知症の症状進行等により、24名から21名に減っている。
- ・特定施設の利用に関して、利用者個々に介護サービス内容についての説明を行うが、低所得の利用者が多く在籍しているため、出来るだけ自己負担額を抑えようと、部分的な介護サービスの利用を希望される方が多く、特定施設の利用に結びついていない。
- ・加算検討について、10月より新設された介護職員等特定処遇改善加算の申請、取得、算定を行った。また3月に医療連携加算を申請した。

### ② 利用者のQOL向上への取組

- ・個別支援計画等については、利用者個々の生活の中でのニーズを把握し、利用者自身のエンパワメントを活用した計画を作成し、利用者の満足度に繋げることができた。
- ・生きがい活動については、利用者一人ひとりの意向を取入れながら、様々な施設内行事や週単位で行われている健康体操、コーヒータイム、レクリエーションを実施した。
- ・利用者の生活上の不安や悩みに対応するため、定期的な談話会や生活に関するアンケート調査を実施した。アンケート結果に基づいた行事を実施し、利用者からも好評をいただいている。

### ③ 住環境の整備

- ・高齢化及び心身の状態変化がある利用者に関しては、本人の同意を得ながら、安心な生活を送る上で必要な福祉用具の設置等、住環境整備を行った。また、利用者の身体機能低下等により、特殊浴槽を利用する方が増えている。

### ④ 健康管理

- ・転倒防止の取組みとしては、談話会等を活用し、転倒予防について周知した。また、店頭に関する状況確認の検討を重ね、職員間での周知を図るとともに、福祉用具等の展示説明を行い、利用者への情報提供を行った。
- ・感染症予防対策としては、施設内消毒等を実施するとともに、新型コロナウイルス感染予防マニュアルを周知し、感染予防に繋げた。

## 【老人専用マンション】

### ① 入居者増に向けた取組

- ・入居者増に向けての広報活動として、さきがけ新聞に公告を掲載した。4～5月に問い合わせ件数が増え、今年度3名増となり、在籍数は7名となっている。
- ・3階居室改修工事については、秋田県との協議結果、入居者への心身の負担を考慮し中止となる。その内容について説明会を実施し、利用者から了承を得ている。
- ・介護サービスに関する情報提供については、横手市の介護サービス利用に関するパンフレット等を活用し、いつでも閲覧できる環境を整えた。

### ② 継続入居者の推進

- ・定期的にコーヒータイムや健康体操・口腔体操等を実施し、余暇活動支援の充実を図った。また、入居者の意見を聴取し、様々な活動へ反映することで心身の活性化に努めた。

### ③ 住環境の整備

- ・入居者の身体状況に応じ、ホールや食堂のレイアウト変更を行うとともに、共同浴槽「ぬくもりの湯」の利用促進及び各階に車いすを常設する等、入居者の不安解消に努めた。

### ④ 健康管理

- ・転倒防止の取組みとして、入居者の自主活動への支援や居宅支援センターとの連携を図りながら、身体状態の変化に応じて必要な福祉用具の利用等を勧め、転倒防止に努めた。
- ・感染予防対策として、施設内消毒等を実施するとともに、新型コロナウイルス感染予防マニュアルを周知し、感染予防に繋げた。

## 【居宅支援センター】

### ＜指定居宅介護支援事業所＞

#### ① サービスの向上に向けた取組

- ・ケアプラン作成時は、一人ひとりの利用者に合った支援を実現させるために、総合的にアセスメントを行い、利用者やご家族からの要望等を考慮したケアプランの作成に努めた。その際は、複数のサービス事業所について提案し、利用者自身が選択できるよう努めた。

#### ② 事業所等との連携の強化

- ・毎月地域ケア会議に出席し、会議内容を周知した。また、研修等に積極的に参加し、各関係機関と連携を強化できた。
- ・毎月施設との連絡会を開催し、情報交換することで情報を共有し、ケアプランに反映させることができた。

## ＜指定訪問介護事業所＞

### ① サービスの向上に向けた取り組み

- ・毎月居宅支援センター会議を開催し、3か月ごとにケアカンファレンスを行っている。ケアプランに沿ったサービス提供ができているか。また、そのケアプランが利用者のニーズに合ったものか確認することができた。

### ② 事業所等との連携の強化

- ・毎月施設との連絡会を開催し、利用者の情報を共有することができた。また、各居宅介護支援事業所には、毎月モニタリング票で利用者の情報を提供している。

利用状況

1. コミュニティセンターの利用状況

単位：人

区 分		年 間 合 計 (人)		比較増減
		令和元年度	平成30年度	
有 料	休 憩	11,054	12,026	△ 972
	宿 泊	708	738	△ 30
	会 議 室 等	355	737	△ 382
	屋 内 運 動 広 場	4,179	4,974	△ 795
	屋 内 プ ー ル	5,181	7,579	△ 2,398
	セ ッ ト 券	44	100	△ 56
	各種自主事業等	3,728	7,008	△ 3,280
	小 計	25,249	33,162	△ 7,913
無 料	屋 内 運 動 広 場	22,560	24,434	△ 1,874
	各種自主事業等	5,771	7,659	△ 1,888
	そ の 他 事 業	14,559	16,140	△ 1,581
	視 察 等	43	87	△ 44
	小 計	42,933	48,320	△ 5,387
合 計		68,182	81,482	△ 13,300

2. 各種教室・講座の利用状況

単位：人( )内は開催回数

区 分		令和元年度	平成30年度	比較増減	
生 活 動 が い	有 料	陶 芸	890 ( 181 )	814 ( 167 )	76 ( 14 )
		茶 道	75 ( 10 )	86 ( 11 )	△ 11 ( △ 1 )
		その他の教室	2,089 ( 182 )	5,600 ( 552 )	△ 3,511 ( △ 370 )
		小 計	3,054 ( 373 )	6,500 ( 730 )	△ 3,446 ( △ 357 )

区 分		令和元年度	平成30年度	比較増減	
健 康 づ く り	有 料	スポーツ大会等	605 ( 11 )	682 ( 10 )	△ 77 ( 1 )
		小 計	605 ( 11 )	682 ( 10 )	△ 77 ( 1 )
交 流 活 動	有 料	交流イベント等	4,579	6,407	△ 1,828
		小 計	4,579	6,407	△ 1,828
そ の 他	無 料	映 写 会	773 ( 48 )	758 ( 48 )	15 ( 0 )
		無 料 開 放	435 ( 2 )	394 ( 2 )	41 ( 0 )
		ポイントカード等	119 ( )	73	46
		小 計	1,327 ( 50 )	1,225 ( 50 )	102 ( 0 )
合 計		6,511 ( 61 )	8,314 ( 60 )	△ 1,803 ( 1 )	

3. 利用状況の推移

単位：人

年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
年 間 利 用 者 数	89,752	88,428	79,646	81,482	68,182

## 利用状況

### 1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	H31. 4. 1		R2. 4. 1		H31. 4～R2. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
養護老人ホーム	50	48	50	45	16,935	46.3
軽費老人ホーム	50	46	50	46	16,473	45
内 特定入居者生活介護	25	21	25	22	7,947	21.71
老人専用マンション	24	4	24	7	2,354	6.44

### 2. 利用者の状況（令和2年4月1日現在）

#### （1）養護老人ホーム

介護度区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	2	3	3	3	1	0	0	12
女	1	6	7	6	2	2	0	24
計	3	9	10	9	3	2	0	36

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	0	0	0	0	2	6	6	14
女	0	0	0	0	1	7	23	31
計	0	0	0	0	3	13	29	45

#### （2）軽費老人ホーム

介護度区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	1	6	2	0	0	0	9
女	2	4	10	4	2	0	0	22
計	2	5	16	6	2	0	0	31

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	0	0	0	0	0	7	10	17
女	0	0	0	0	0	2	27	29
計	0	0	0	0	0	9	37	46

#### （3）居宅支援サービス

種 別	H31. 4～R2. 3延件数
指定居宅介護支援事業	726
指定訪問介護事業	6,488

# 高 清 水 園

## ① 日中活動の充実

- ・日中活動の充実については、施設における創作活動のあり方や活かし方を日々の業務の中から模索するため、秋田公立美術大学の安藤郁子准教授とともに、職員を対象とした対話型ワークショップを企画・開催し、個々の意識形成を図る取組みを進めた。また、各種展示会等への積極的な出品参加を通じ、利用者それぞれが持つ個性と感性を生み出す様々な表現活動の取組みに努めた。
- ・生産活動グループについては、遊学舎、中央エリアからの資源ごみ回収を毎週定期的に行い、リサイクル業者に加工品を納品、収入を得る等、地域貢献活動を兼ねた活動に取り組んだ。また、レクリエーション活動においては、主たる歩行訓練に加え集団活動へ繋がる種目の工夫や遊具を用いた定期的イベントの実施企画により、活動開始時間近くに自主的に利用者が体育館へ移動するなど、活動空間と生活空間の認識が徐々に定着してきた。

## ② 自閉症や特別な行動を持つ利用者への専門的な取組み

- ・対象者9名については、『自閉症支援のための現場評価キット』を導入し、外部講師を招き何名かの専任職員が活用方法を学び、利用者個々の評価に基づいた個別毎の活動内容を設定した上で、視覚的支援とともに障がい特性に配慮した自立課題の開発を進めた。
- ・日中サービス支援型グループホームの開設を想定した支援プログラムについては、法人主体で実施した職員提案型研修の先進地視察研修に参加し、開設要件の対策、各種申請書作成や行政への対応、人員、設備に於ける基準要件等の情報収集に努め、将来的な地域生活移行へ向け、次期5ヶ年計画に反映させるよう検討した。

## ③ タブレット端末を活用した支援

- ・グループ活動(レクリエーション班)については、利用者毎の個別活動メニューの動画を作成し、個々の特性に沿った補助的ツールとして活用した。
- ・サポートセンターの利用者支援については、外出時選択動画を作成し、行き先の具体的見通しを持てる選択肢として活用し、利用者の意思決定支援を推進した。

## ④ 地域支援課の体制整備

- ・地域支援課の体制整備については、事業推進プロジェクト内で月1回会議を開催し、サポートセンター、放課後等デイサービス和く話く、相談支援事業所の各部署の体制を整える一年としながら、相互間の現状と課題等について情報共有を図り、連携強化による体制基盤の整備、検討に努めた。
- ・秋田市からの受託事業である放課後生活支援については、当事業の利用実績が少ない等の理由から今年度をもって事業廃止となった。
- ・相談支援事業所については、旧更生訓練センター相談支援事業所と統合した体制のもと、関係機関との連携を進め、より総合的、専門的な相談支援体制を図った。

## 利用状況

### 1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	H31. 4. 1		R2. 4. 1		H31. 4～R2. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援	88	85	88	85	30,132	82.3
生活介護	92	93	92	93	24,129	65.9
共同生活援助（GH結）	5(1)	5(1)	5(1)	5(1)	1,980	5.4
共同生活援助（GHみのり）	5(1)	5(1)	5(1)	5(1)	2,168	5.9
共同生活援助（GHあおぞら）	5(1)	5(1)	5(2)	5(2)	1,753	4.8
共同生活援助（GHさくら）	5(1)	5(1)	5(1)	5(1)	2,188	6.0
共同生活援助（GHこまち）	6	6	6	5	2,168	5.9
短期入所	8	36	8	40.0	126	0.3
放課後等デイサービス	10	21	10	23.0	1,867	6.5

種別	H31. 4～R2. 3延件数
相談支援（児童含）	945
日中一時支援	197

### 2. 利用者の状況（令和2年4月1日現在）

#### （1）施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	0	6	14	36	56
女	0	0	0	0	0	12	17	29
計	0	0	0	0	6	26	53	85

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	12	13	26	4	0	1	0	56
女	9	5	13	2	0	0	0	29
計	21	18	39	6	0	1	0	85

#### （2）グループホーム

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	3	0	0	3	4	2	0	12
女	8	0	2	2	2	2	2	18
計	11	0	2	5	6	4	2	30

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	1	2	7	1	1	0	0	12
女	5	4	8	1	0	0	0	18
計	6	6	15	2	1	0	0	30

## 秋田県心身障害者コロニー

### ① 強度行動障がい専用寮の運営開始

- ・強度行動障がいに対応した専用の施設入所事業を開設し、他法人等からの研修の受入れを検討している。今後、事業所内、法人内職員の順で研修を実施・検証し、県内施設職員の研修受入れについては、令和3年度に実施できるよう計画を修正した。
- ・行動障がいを示す女子利用者の受入れ可能な体制について検討を行った。利用者ニーズがあり必要性は感じているものの、コロニー全体の欠員状況から職員の確保が難しい、専門的知識の習得や人材育成の面でも課題が多い等の理由から、前向きな検討には至らなかった。

### ② 長期的視野に立ったサービス提供体制の構築

- ・就労継続支援B型事業の一部を地域で提供できる体制を検討し、次年度に試験的に実施し検証することとした。
- ・利用者の退所が増えていくことを考慮しつつ、利用者の特性や個性に合致した支援体制を構築し、令和3年度に向け、定員変更や課の再編を検討していくこととした。
- ・高齢者専用グループホームの建設について、現時点では「日中支援型」の実施は困難と判断したが、利用者が安全で安心して過ごせる施設を今後も検討していくことにした。

### ③ 記念事業と協議会開催に向けての準備

- ・第49回全国コロニー協議会へ参加し、令和2年度第50回を当県において、開催することとなり、事務引継ぎ等を行い、協議検討し準備をした。
- ・創立50周年に向け、準備委員会を開設、協議・検討を行い、素案及びタイムスケジュール等を作成、開催年度に向けて準備をした。

### ④ 安定した運営体制の継続

- ・利用者の高齢に伴い退所された方が24名（死亡20名、移行4名）と多く、利用者の減少を抑えるよう新たな利用者7名を受入れ、利用促進・経費削減に努め財政基盤の安定に尽くした。

### ⑤ 虐待ゼロへの取組

- ・市町村への通報や相談を行い、内部調査・外部監査を受けた。その調査・監査結果を踏まえ、虐待の疑われる事案として捉え、県及び市町村への改善計画書を提出した。コロニーとして、人権擁護と虐待防止の研修、支援員の虐待防止宣言、週間虐待防止チェックリスト等を行い、虐待防止の強化に取り組んだ。

## 利用状況

### 1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	H31. 4. 1		R2. 4. 1		H31. 4～R2. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援	360	356	360	339	124,380	339.84
生活介護	400	343	400	327	88,780	242.57
就労継続B型	70	61	70	57	14,561	48.7
共同生活援助（GHわかまつ）	6	6	6	5	2,027	5.54
共同生活援助（GHやすらぎ）	6	6	6	6	2,135	5.83
共同生活援助（GHそよかぜ）	4	4	4	4	1,448	3.96
共同生活援助（GHはまなす）	4	4	4	4	1,441	3.94
共同生活援助（GHまつかぜ）	6	6	6	6	1,990	5.44
共同生活援助（GHしおさい）	5	5	5	5	1,824	4.98
共同生活援助（GHなでしこA）	5	5	5	5	1,812	4.95
共同生活援助（GHなでしこB）	4	3	4	4	1,184	3.23
共同生活援助（GHかもめ）	5	5	5	5	1,804	4.93
短期入所	5		5			

種別	H31. 4～R2. 3延件数
日中一時支援	161

### 2. 利用者の状況（令和2年4月1日現在）

#### （1）施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	1	7	41	66	64	179
女	0	0	0	1	31	54	74	160
計	0	0	1	8	72	120	138	339

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	16	12	26	22	48	37	18	179
女	3	7	13	19	36	52	30	160
計	19	19	39	41	84	89	48	339

#### （2）グループホーム

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	6	1	3	9	3	4	0	26
女	2	0	3	7	6	0	0	18
計	8	1	6	16	9	4	0	44

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	1	1	3	5	9	6	1	26
女	0	1	2	2	4	9	0	18
計	1	2	5	7	13	15	1	44

コロニー診療所の利用状況

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
医 科	診療日数	239日	193日	195日	203日	197日	
	延べ 受診者 数	利用者	11,904人	10,361人	9,093人	9,643人	8,959人
		その他	224人	142人	126人	133人	121人
		計	12,128人	10,503人	9,219人	9,776人	9,080人
歯 科	診療日数	80日	89日	60日	76日	83日	
	延べ 受診者 数	利用者	707人	733人	525人	647人	766人
		その他	0人	0人	0人	0人	0人
		計	707人	733人	525人	647人	766人
計	診療日数	319日	282日	255日	279日	280日	
	延べ 受診者 数	利用者	12,611人	11,094人	9,618人	10,290人	9,725人
		その他	224人	142人	126人	133人	121人
		計	12,835人	11,236人	9,744人	10,423人	9,846人

## 由利本荘地域生活支援センター

### ① 支援体制の強化

- ・ 基幹相談センター事業と相談支援事業を明確に分けることで、専門性と機能や役割の充実を図った。
- ・ 相談支援事業の法制度の改正に伴い、モニタリングの回数増等に対応するため、職員2名を増員した。まだすべてに対応できていない状態であるが令和2年度には職員の1名増を予定している。
- ・ 放課後等デイサービスのニーズが高く、今年度定員10名の放課後等デイサービス『ぐんぐん』を4月より開所した。初年度は年間平均6名程度の利用であったが、令和2年度には希望者増により平均10名ほどの利用を予定している。
- ・ 就労継続支援B型は定員を10名から20名に変更したが、利用者の高齢化、地域移行等により、平均利用が11名程度になっている。今後の方向性について検討が必要である。

### ② 職員の人材育成と人材確保

- ・ 各研修や外部視察等を実施した。また、事業所内で体験型やワールドカフェ方式の研修を開催した。事業種が多く普段顔を合わせる事のない職員同士の交流を図ることで、支援の情報共有と共に虐待防止やメンタルヘルスへの効果を期待するものである。

### ③ 地域生活・地域移行の支援

- ・ 共同生活援助事業の利用者が高齢になっても本人の希望する生活が継続できるよう、副世話人を配置し、隙間のない支援体制を整えた。
- ・ サテライト型サービス利用者が自立した生活に移行できるよう利用者とともに有期限内のスケジュール設定と支援に取り組んだ。また、自立後、社会資源の活用を見据えたサポート体制を整え2名を自立に導いた。

### ④ 地域貢献活動

- ・ 就学前児童の保護者へ向けた「のんびりカフェ」を年4回実施した。由利本荘市内の保育所、幼稚園へ案内を出したが参加者がなく、当児童発達支援事業を利用している保護者2名の参加のみであった。参加者は少なかったが、普段話せない日頃の思いや不安を話せるよい機会になった。ピアカウンセリングの重要性をあらためて感じたが、参加者を募る方法に課題を感じた。

## 利用状況

### 1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	H31. 4. 1		R2. 4. 1		H31. 4～R2. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
生活介護	30	39	30	37	5,298	19.2
就労継続B型	20	18	20	15	3,216	12.4
共同生活援助（GH翼）	4	4	4	3	1,235	3.4
共同生活援助（GH御門A）	5	5	5	5	1,793	4.9
共同生活援助（GH御門B）	5	5	6	6	1,767	4.8
共同生活援助（GH清和A）	5	5	5	5	1,829	5
共同生活援助（GH清和B）	6	6	5	5	2,121	5.8
共同生活援助（GH朋A）	5	4	5	4	1,397	3.8
共同生活援助（GH朋B）	5	5	5	5	1,808	4.9
共同生活援助（GHめぐみ）	6	6	6	6	2,138	5.8
共同生活援助（GH菖蒲）	6	6	6	6	2,131	5.8
共同生活援助（GH若菜）	6	6	6	6	2,176	5.9
共同生活援助（GH三愛A）	5	4	5	5	1,431	3.9
共同生活援助（GH三愛B）	5	5	5	4	1,772	4.8
共同生活援助（GH虹）	5	5	5	5	1,816	5
児童発達支援・放課後等デイサービス事業所のびのび	10	31	10	29	2,645	8.9
放課後等デイサービス事業所ぐんぐん	10	7	10	15	1,443	5.9

種別	H31. 4～R2. 3延件数
相談支援（児童含）	1,571
障害児等療育支援	32
基幹相談支援センター	5,357
障害者就業・生活支援センター	3,428

### 2. グループホーム利用者の状況（令和2年4月1日現在）

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	26	1	8	6	5	2	0	48
女	3	0	6	5	2	1	0	17
計	29	1	14	11	7	3	0	65

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	3	2	14	10	9	8	2	48
女	1	2	4	2	4	4	0	17
計	4	4	18	12	13	12	2	65

## 阿 桜 園

### ① 事業等の見直しと支援体制の強化

- ・既存事業の見直し、定員変更及び新規事業の検討を行った。総合的な検討や検証は今後も引き続きの課題であり、次年度においても継続する。
- ・個別支援計画で、利用者個々の特性及び要望に、より沿ったものを作成し、利用者と積極的に話し合いの場を設け、支援内容の充実を図った。

### ② 重度・高齢化への対応

- ・経年劣化に伴う成人棟トイレ換気扇交換及び成人棟廊下箇所への冷暖房装置設置により、施設内空調関係を整備し、住環境の改善を行った。  
また、利用者の身体状況を確認しながら各種福祉機器の導入について検討を進めた。
- ・横手市から健康相談員を招聘し、高齢者向け体操「らくらく体操～健康体操」の指導を得ながら医療的ケアの充実を図った。

### ③ 人材育成

- ・強度行動障がい等の専門的な研修、他施設での体験研修のほか、全職員を対象に介護技術及び虐待防止等の研修を行い、職員の資質の向上を図った。
- ・支援アドバイザーの助言を得ながら様々な事例検証を行い、各利用者の特性に応じた支援方法の検討をとおして、支援スキルの向上を図った。

### ④ 安全対策

- ・前年度に引き継ぎ、近隣の横手支援学校等(3団体)と合同で避難訓練を行い、緊急災害時における近隣施設の相互協力による避難対応及び体制の確認ができ、大きな成果を得た。

### ⑤ 人材確保と職場定着

- ・将来の福祉人材確保を目的とし、横手市内の中学校で福祉セミナーを開催した。参加者からは好評を得ることができ、次年度の継続に繋げることができた。
- ・悩みやストレスの軽減を図る為、各職員との定期的な個別面談を行い、良好な人間関係を構築し、働きやすい職場環境の維持に努めた。

## 利用状況

### 1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	H31. 4. 1		R2. 4. 1		H31. 4～R2. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援(阿桜園)	70	67	70	64	23,100	63.3
施設入所支援(あざくら園)	40	39	40	39	13,742	37.6
生活介護(阿桜園)	75	72	75	69	18,215	53.1
生活介護(あざくら園)	40	39	40	39	10,121	28.5
生活介護(重症心身)	5	13	5	14	792	3.3
福祉型障害児入所	5	4	5	5	1,799	4.9
共同生活援助(GH希望Ⅰ)	5	4	5	5	1,467	4
共同生活援助(GH希望Ⅱ)	5	4	5	4	1,448	4
短期入所	4	6	4	4	37	0.1
児童発達支援	5	1	5	1	0	0
放課後等デイサービス(重度)		5		3	151	0.6
放課後等デイサービス	10	17	10	16	2,079	8.7

種別	H31. 4～R2. 3延件数
相談支援(児童含)	437
日中一時支援	293
障害児等療育支援	371

### 2. 利用者の状況（令和2年4月1日現在）

#### (1) 施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	0	12	23	40	75
女	0	0	0	0	3	6	19	28
計	0	0	0	0	15	29	59	103

#### 年齢構成（障害児入所・施設入所）

区分	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80以上	計
男	4	8	20	16	20	6	5	0	79
女	1	6	5	3	5	2	5	2	29
計	5	14	25	19	25	8	10	2	108

#### (2) グループホーム

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	1	0	0	3	0	0	0	4
女	0	0	0	3	0	2	0	5
計	1	0	0	6	0	2	0	9

年齢	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	2	1	0	1	0	0	0	4
女	0	0	2	1	1	0	1	5
計	2	1	2	2	1	0	1	9

## やまばと園

### ① 安定的な事業推進

- ・湯沢雄勝広域市町村圏組合からの第4期指定管理受託を開始する。利用者は入所、通所ともに大きな変動なく、前年度から引き続き安定した運営を行った。
- ・湯沢雄勝圏域における障害児福祉の社会資源として、放課後等デイサービス事業及び障害児等療育支援事業を継続し、ペアレントトレーニングやポータージ乳幼児教育プログラム研修を受講した支援員が、専門的なサービスを提供した。

### ② 重度高齢化対策と施設の延命化

- ・近隣医療機関の理学療法士が2ヶ月に1回来園し、利用者の日常生活状況から心身機能を評価してもらう機会を設けている。理学療法士が作成した訓練プログラムを基に施設内でできる運動等に取り組み、機能維持・低下防止に努めている。
- ・利用者の重度高齢化に対応した特殊浴槽設置に向けた設備整備と施設保全及び延命化のため、湯沢雄勝広域市町村圏組合と具体的な改修に伴う設計等について協議を重ねた。

### ③ 共同生活援助事業所の検討

- ・地域ニーズに応じた共同生活援助事業の拡充について検討したが、地域の実情や福祉動向を鑑み、具体的な取組に至らなかった。

### ④ 利用者の権利擁護と職員のスキルアップ

- ・施設が閉鎖的な環境に陥らないように、各種行事のほか、毎月のボランティア受入等、外部団体と積極的に交流を図った。また、行事のポスターや園内活動、敷地内風景等をホームページに掲載し、情報公開に努めた。
- ・研修を通じて虐待防止、身体拘束禁止等に関する意識を高めるとともに、職員それぞれがテーマを基にグループ討議を重ねる機会を持つことで権利擁護意識の醸成とスキルアップを図った。

### ⑤ 情報伝達の構造化

- ・ヒヤリハットの検証や、感染症の情報整理等の場合でホワイトボードを活用した「構造化」の手法を取り入れ、職員間の意思疎通が円滑になるよう工夫し、情報の共有、声掛けや支持の明確化、積極的な意見交換に努めた。

## 利用状況

### 1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	H31. 4. 1		R2. 4. 1		H31. 4～R2. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援	60	60	60	59	20,458	55.9
生活介護	50	70	50	69	15,721	43.0
就労継続B型	10	9	10	10	2,062	8.1
共同生活援助（GHばってりー）	5	5	5	4	1,609	4.4
短期入所	8	5	8	15	439	1.2
放課後等デイサービス	10	22	10	22	2,074	8.8

種 別	H31. 4～R2. 3延件数
相談支援（児童含）	353
日中一時支援	334
障害児等療育支援	293

### 2. 利用者の状況（令和2年4月1日現在）

#### （1）施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	0	11	13	15	39
女	0	0	0	2	3	9	6	20
計	0	0	0	2	14	22	21	59

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	9	7	15	3	3	2	0	39
女	1	6	8	1	3	1	0	20
計	10	13	23	4	6	3	0	59

#### （2）グループホーム

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	1	0	3	0	4
女	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	1	0	3	0	4

年齢	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	計
男	0	3	1	0	0	0	0	4
女	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	3	1	0	0	0	0	4

## 障害者支援センター御所野

### ① 重度障がい者を対象とするサービス提供体制の構築

- ・相談受付、事前面談後に入所調整会議を実施。入所決定後は、順次契約前に情報を共有し支援体制のシミュレーションを行った。
- ・入所後はアセスメントから得た情報を基に状況に応じて業務内容の改変、個別介助方法の検討及び周知、各業務のマニュアル等の整備に努め、より良い支援に繋がった。

### ② 職員研修による資質向上

- ・新採用者には法人のOJT記録表に基づき実施している。
- ・法人内外の研修に派遣し、身体介助や感染症対応、権利擁護に係わる事を学び研鑽に努めた。

### ③ 新しい環境への適応

- ・新築のため引っ越し当初は館内が寒いことや、方向感覚をつかめない利用者から不満の声も寄せられた。館内の暖房を強め体調不良者が出ないように体調把握に努めた。また、館内の廊下には、わかりやすいように東西南区の案内を示したことで不満が解消された。それ以外の不安要素は見られず順応できていた。
- ・旧身体障害者更生訓練センターから日課を極力変更しないことで、利用者が生活のリズムを崩さずに過ごせている。

### ④ 地域との積極的な関わり

- ・リーフレットを関係機関へ配布し、施設見学も積極的に受け入れるなど、PR活動に努め施設機能の周知を図った。
- ・移転後もボランティア団体の受け入れがあった。モードスタジオQによる招待(カラー・カット)、雄和図書館のつくしんぼ会による本の読み聞かせと合唱、日本バーテンダー協会秋田支部によるバーテン体験とノンアルコール試飲、その他、父兄による本の読み聞かせと合唱があった。次年度は地域貢献活動にも力を入れていきたい。

### ⑤ 安定した自立経営に向けた取り組み

- ・平成31年4月1日に入所者12名で事業開始し、年度末には入所者36名となった。生活介護利用者は38名となり、平均で1か月2名の入所となった。地域の利用ニーズに応え、短期入所利用を積極的に受け入れた。
- ・職員会議等において光熱水費等の使用量削減、コスト削減等経費節減を周知した。

## 利用状況

### 1. 利用者数（契約者数）

単位：人

種別	H31. 4. 1		R2. 4. 1		H31. 4～R2. 3	
	定員	利用者数	定員	利用者数	延利用者	利用者／日
施設入所支援	40	12	40	36	8,647	23.62
生活介護	40	12	40	36	7,348	20.46
短期入所	2	0	2	0	260	0.79

種 別	H31. 4～R2. 3延件数
日中一時支援	1

### 2. 利用者の状況（令和2年4月1日現在）

#### 施設入所

支援区分	無	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	1	6	8	9	24
女	0	0	0	0	3	4	5	12
計	0	0	0	1	9	12	14	36

年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	計
男	2	1	2	1	5	11	2	24
女	0	0	2	2	4	4		12
計	2	1	4	3	9	15	2	36

## 秋田県点字図書館

### ① 貸出数減少要因の調査、分析

- ・令和元年度末の個人登録者数は704名で微減となった。
- ・貸出は、前年度と比較すると点訳図書とデージー図書は約10%の増、音訳図書は横ばいであった。
- ・サピエからのテキストデージーのダウンロード数は約60%増。
- ・定期刊行物は46タイトルを延べ9,600人に提供した。
- ・休日が連続した際に貸出数や貸出日数を増やすなど弾力に対応したことも貸出増につながった。

### ② スムーズな図書供給のための奉仕員の養成

- ・点訳及び音訳奉仕員養成講座を実施し12名が修了した。併せて前年度修了者13名に対し、修了後の指導助言を行い育成に努めた。
- ・県から貸与を受けたパソコンを奉仕員に貸出し、蔵書等の製作活動を積極的、継続的にできる活動環境を整えるよう努めた。
- ・製作は、点訳図書は微減、デージー図書は10%増、テキストデージーは80%増であった。点訳図書の製作基準に改定があったことから製作及び校正で確認しながら製作した。

### ③ 点字図書館のPR及び当事者団体及び関係機関との連携

- ・小学生の点字学習（8校）への協力と中学生の職場体験（2校）を受け入れた。
- ・県内ボランティアグループの勉強会からの講師の派遣や技術指導等の依頼に協力した。
- ・「利用者懇談会」を湯沢市と仙北市で未登録者の参加、福祉機器販売企業の協力を得て情報機器や日常生活用具の展示体験も併せて開催した。
- ・「夏休み点字図書館探検」には小学生30名、大人25名が、「プチッと点字体験」は大館市生涯学習フェスティバルでブースを設けて行った。児童の総合学習と県民への啓発をすることができた。
- ・「情報機器及び日常生活用具展示体験会」を福祉機器販売企業とスマートフォン販売企業、仙台盲導犬協会の協力を得て開催した。
- ・県条例の推進で「小中学生向け障害理解教室」を小学校（3校）で点字学習を行った。
- ・「秋田県版スマートサイト推進委員会」、「秋田県図書館等連絡会」等へ参画する機会を利用して当館の情報提供を行った。

## 利用状況

### 1. 図書受入状況

平成31年4月～令和2年3月

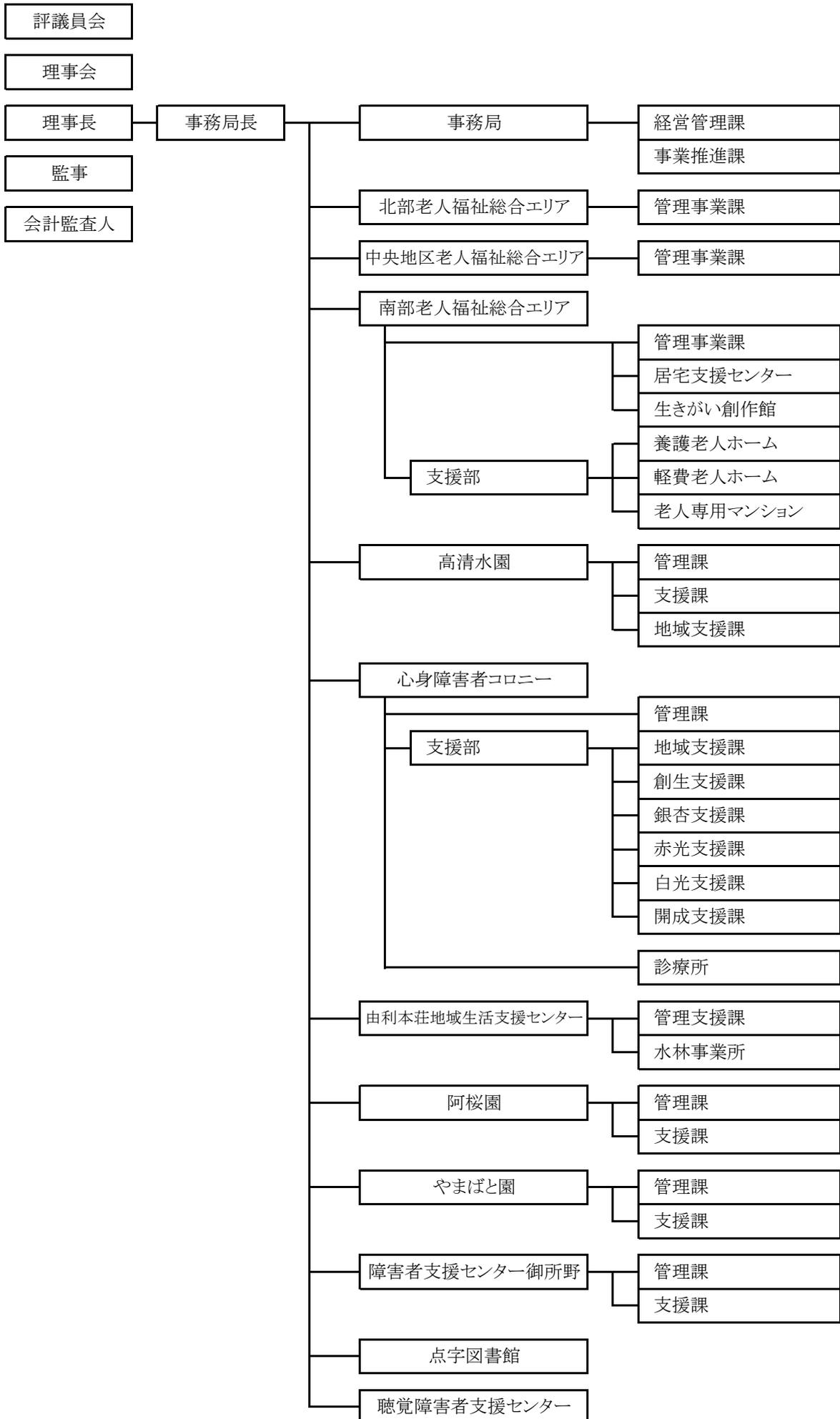
区分	点字図書		テープ録音図書		デージー図書		テキストデージー		合計		タイトル 構成比
	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	
厚生省委託	28	73	0	0	60	60	0	0	88	133	22.45%
自館制作	144	508	0	0	102	102	48	48	294	658	75.00%
複製	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
購入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
寄贈	0	0	0	0	10	10	0	0	10	10	2.55%
計	172	581	0	0	172	172	48	48	392	801	100.00%

### 2. 分類別貸出状況

区分	点字図書 (含、FD)		録音図書 (テープ)		音声デージー (CD)		テキストデージー (CD)		合計		タイトル 構成比
	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	タイトル	冊数	
0 総記	2	4	1	10	19	19	0	0	22	33	0.30%
1 哲学	11	33	3	20	147	147	0	0	161	200	2.17%
2 歴史	17	47	2	9	109	109	0	0	128	165	1.73%
3 社会科学	14	50	8	48	188	188	0	0	210	286	2.83%
4 自然科学	25	84	11	76	115	115	0	0	151	275	2.04%
5 技術	13	39	3	25	30	30	0	0	46	94	0.62%
6 産業	3	8	0	0	21	21	0	0	24	29	0.32%
7 芸術	11	33	3	19	72	73	0	0	86	125	1.16%
8 言語	2	11	0	0	21	21	0	0	23	32	0.31%
9 文学	223	978	212	1,860	6,122	6,139	0	0	6,557	8,977	88.51%
合計	321	1,287	243	2,067	6,844	6,862	0	0	7,408	10,216	100.0%

# 1. 組織

令和2年4月1日現在



## 2. 施設の概要

令和2年4月1日現在

種別	施設名	所在地	主なサービス	定員	備考	
老人福祉総合エリア	秋田県北部老人福祉総合エリア	大館市	コミュニティーセンター		指定管理	
	秋田県中央地区老人福祉総合エリア	秋田市	コミュニティーセンター		指定管理	
	秋田県南部老人福祉総合エリア	横手市	コミュニティーセンター			指定管理
			養護老人ホーム	50		
			軽費老人ホーム（特定含）	50		
			老人専用マンション	24	指定管理	
			居宅支援センター			
生きがい創作館		指定管理				
障害児者支援施設	高清水園	秋田市	施設入所支援事業	88		
			生活介護事業	92		
			放課後等デイサービス	10		
			グループホーム（5カ所）	30		
	秋田県心身障害者コロニー	由利本荘市	施設入所事業	360		
			生活介護事業	400		
			就労継続支援事業B型	60		
			グループホーム（9カ所）	45		
			診療所			
	由利本荘地域生活支援センター	由利本荘市	生活介護事業	30		
			児童発達支援事業	10		
			放課後等デイサービス			
			放課後等デイサービス	10		
			就労継続支援事業B型	20		
			グループホーム（13カ所）	68		
	阿桜園	横手市	施設入所支援事業	110		
			生活介護事業	120		
			福祉型障害児入所施設	5		
			児童発達支援事業	5		
			放課後等デイサービス（重心）			
放課後等デイサービス			10			
グループホーム（2カ所）			10			
湯沢雄勝広域市町村圏組合やまばと園			湯沢市	施設入所支援事業	60	指定管理
				生活介護事業	50	
				就労継続支援事業B型	10	
	放課後等デイサービス	10				
	グループホーム（1カ所）	5				
障害者支援センター御所野	秋田市	施設入所支援事業	40			
		生活介護事業	40			
視聴覚障害者情報提供施設	秋田県点字図書館	秋田市	視覚障がい者への情報提供		指定管理	
	秋田県聴覚障害者支援センター	秋田市	聴覚障がい者への情報提供		県受託	

### 3. 施設のサービス利用状況

利用者は各年4月1日現在の契約者数 件数は年間の延べ件数

#### 障害者

##### 1 介護給付

施設名	施設入所				生活介護				短期入所			
	定員		利用者		定員		利用者		定員		利用者	
	R元	R2	R元	R2	R元	R2	R元	R2	R元	R2	R元	R2
高清水園	88	88	85	85	92	92	93	94	8	8	36	40
心身障害者コロニー	360	360	356	339	400	400	343	327	5	5	32	12
由利本荘支援センター	—	—	—	—	30	30	39	37	—	—	—	—
阿桜園	110	110	106	103	120	120	124	122	4	4	6	4
やまばと園	60	60	60	59	50	50	70	69	8	8	5	15
支援センター御所野	40	40	13	36	40	40	16	38	2	2	9	21
合計	658	658	620	622	732	732	685	687	27	27	88	92

##### 2 就労継続支援

施設名	就労継続支援B型			
	定員		利用者	
	R元	R2	R元	R2
心身障害者コロニー	70	70	61	57
由利本荘支援センター	20	20	18	15
やまばと園	10	10	9	10

##### 3 地域生活支援

施設名	日中一時支援				日中一時支援（放課後型）				障害児等療育支援			
	定員		利用件数		定員		利用件数		定員		利用件数	
	H30	R元	H30	R元	H30	R元	H30	R元	H30	R元	H30	R元
高清水園	8	8	126	86	10	10	154	111	—	—	—	—
心身障害者コロニー	5	5	207	161	—	—	—	—	—	—	—	—
由利本荘支援センター	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	36	32
阿桜園	4	4	287	293	—	—	—	—	16	16	391	371
やまばと園	8	8	332	334	—	—	—	—	12	12	352	293
支援センター御所野	2	2	7	1	—	—	—	—	—	—	—	—

##### 4 相談支援

施設名	相談件数	
	H30	R元
高清水園	423	945
由利本荘支援センター	1,206	1,571
阿桜園	349	437
やまばと園	300	353
支援センター御所野	357	0

5 居住支援（共同生活援助）

施設名	ホーム名	グループホーム				サテライト型利用			
		定員		利用者		定員		利用者	
		R元	R2	R元	R2	R元	R2	R元	R2
高清水園 6カ所	結	5	5	5	5	1	1	1	1
	みのり	5	5	5	5	1	1	1	1
	さくら	5	5	5	5	1	1	1	1
	あおぞら	5	5	4	5	1	2	1	2
	こまち	6	6	6	5	—	0	—	0
	彩	—	0	—	0	—	0	—	0
心身障害者コロニー 9カ所	わかまつ	6	6	6	5	—	0	—	0
	やすらぎ	6	6	6	6	—	0	—	0
	そよかぜ	4	4	4	4	—	0	—	0
	はまなす	6	4	6	4	—	0	—	0
	まつかぜ	5	6	5	6	—	0	—	0
	しおさい	5	5	5	5	—	0	—	0
	なでしこA	5	5	5	5	—	0	—	0
	なでしこB	4	4	3	4	—	0	—	0
	かもめ	5	5	5	5	—	0	—	0
由利本荘支援センター 13カ所	翼	4	4	4	3	—	0	—	0
	御門A	5	5	5	5	—	0	—	0
	御門B	5	6	6	6	—	1	—	1
	清和A	5	5	5	5	—	0	—	0
	清和B	6	5	5	5	—	0	—	0
	朋A	5	5	5	4	—	0	—	0
	朋B	5	5	5	5	—	0	—	0
	めぐみ	6	6	6	6	—	0	—	0
	菖蒲	6	6	6	6	—	0	—	0
	若菜	6	6	6	6	—	1	—	1
	三愛A	5	5	4	5	—	1	—	1
	三愛B	5	5	5	4	—	0	—	0
	虹	5	5	5	5	—	0	—	0
阿桜園	希望	10	10	8	9	—	0	—	0
やまばと園	ばってりー	5	5	5	4	—	0	—	0
合計	30カ所	155	154	150	147	4	8	4	8

障害児

施設名	施設入所支援				放課後等デイサービス・児童発達支援				重症心身放課後等デイサービス等			
	定員		利用者		定員		利用者		定員		利用者	
	R元	R2	R元	R2	R元	R2	R元	R2	R元	R2	R元	R2
高清水園	—	—	—	—	10	10	21	23	—	—	—	—
由利本荘支援センター	—	—	—	—	20	20	38	44	—	—	—	—
阿桜園	5	5	4	5	10	10	17	16	5	5	6	4
やまばと園	—	—	—	—	10	10	22	22	—	—	—	—

高齢者

施設名	養護老人ホーム				軽費老人ホーム				老人専用マンション			
	定員		利用者		定員		利用者		定員		利用者	
	R元	R2	R元	R2	R元	R2	R元	R2	R元	R2	R元	R2
南部老人福祉エリア	50	50	48	45	50	50	46	46	24	24	4	7

## 4. 役員等

令和2年4月1日現在

### (1) 評議員

氏名	役職名
遠藤博之	地方独立行政法人 秋田県立療育機構理事長
伊藤英紀	社会福祉法人 秋田県身体障害者福祉協会会長
高橋精一	公益社団法人 秋田県手をつなぐ育成会会長
高島幹子	公益社団法人 秋田県看護協会会長
柴田博	秋田看護福祉大学福祉学科教授
和田士郎	一般社団法人 秋田県社会福祉士会会長
尾留川等	社会福祉法人 つるまい福祉会 理事
木村里美	前社会福祉法人 秋田けやき会 ケアハウスウエルハウス御所野施設長
神谷長一	阿桜園保護者会会長

任期 平成29年6月15日 ～ 令和3年6月定時評議員会

### (2) 理事

氏名	役職名
熊谷淳	元秋田県人事委員会事務局長
柴田一宏	弁護士
太田春海	秋田県民生児童委員協議会長
高橋美岐子	日本赤十字秋田短期大学特任教授
高橋清好	前社会福祉法人秋田県社会福祉協議会常務理事
古田俊之	秋田県社会福祉事業団事務局長
加藤敦	秋田県南部老人福祉総合エリア管理者
小野崎和司	秋田県心身障害者コロニー管理者

任期 令和元年6月26日 ～ 令和3年6月定時評議員会

### (3) 監事

氏名	役職名
田中政博	元秋田市財務部長
戸嶋正	元秋田県阿桜園長

任期 令和元年6月26日 ～ 令和3年6月定時評議員会

### (4) 会計監査人

法人名	所在地
有限責任監査法人トーマツ	東京都港区二丁目15番3号

任期 令和元年6月26日 ～ 令和2年6月定時評議員会

## 5. 会議等

### (1) 評議員会

開催年月日	出席者数		決議事項
	評議員	理事	
令和1年6月26日	8	1	1 平成30年度事業報告及び決算 2 理事及び監事の選任 3 会計監査人の選任及び報酬

### (2) 理事会

開催年月日	出席者数		決議事項
	理事	監事	
令和1年6月3日	8	2	1 平成30年度事業報告及び決算 2 理事及び監事の選任 3 会計監査人の選任及び報酬 4 就業規則の一部改正 5 定時評議員会の開催等 6 今後の人材確保・給与見直し 7 役員賠償責任保険
令和1年6月26日	8	2	1 理事長の選定
令和1年8月26日	7	2	1 福祉・介護職員等特定処遇改善加算等を活用した給与改善 2 職員給与規則の一部改正 3 継続雇用職員就業規則の一部改正 4 有期契約職員就業規則の一部改正 5 無期契約職員就業規則の一部改正 6 令和元年度職員採用試験の状況
令和1年10月25日	7	2	1 会計規則の一部改正 2 令和元年度第1回補正予算 3 会計監査人の公募 4 令和元年度職員採用試験の状況 5 給食業務の外部委託 6 会計監査人の報酬の変更 7 地域交流等費用の執行状況
令和2年2月6日	8	2	1 令和元年度職員採用試験の状況 2 会計監査人候補者の選定 3 虐待防止体制の強化 4 南部老人福祉総合エリアに関する県との協議 5 経営改善の検討を行うチームの設置 6 阿桜園の大規模修繕工事 7 令和2年度人材確保・給与改革 8 聴覚障害者支援センターの運営受託 9 組織規則の一部改正 10 公印取扱規則の一部改正 11 事務決裁規則の一部改正 12 文書取扱規則の一部改正 13 職員就業規則の一部改正 14 職員給与規則の一部改正 15 継続職員就業規則の一部改正 16 有期契約職員就業規則の一部改正 17 無期契約職員就業規則の一部改正 18 臨時的短期間雇用職員就業規則の制定 19 会計規則の一部改正

令和2年3月16日	8	2	1 虐待防止体制の強化 2 新型コロナウイルスへの対応 3 組織規則の一部改正 4 事務決裁規則の一部改正 5 公印取扱規則の一部改正 6 職員就業規則の一部改正 7 職員給与規則の一部改正 8 継続雇用職員就業規則の一部改正 9 有期契約職員就業規則の一部改正 10 無期契約職員就業規則の一部改正 11 職員旅費規則の一部改正 12 会計規則の一部改正 13 令和元年度2次補正予算 14 令和2年度事業計画 15 令和2年度当初予算 16 施設長等の任命 17 令和2年度職員採用計画
令和2年3月25日	8	2	1 阿桜園屋根外壁改修工事契約(書面決議)

(3) 施設長会議

開催年月日	内 容
令和1年5月23日	1 理事会開催議案について
	2 今後の人材確保・給与見直し ほか
令和1年6月28日	1 令和元年10月 給与見直し(案)
	2 職員提案型研修 ほか
令和1年8月1日	1 職員給与規則改正案等
	2 今後の人材確保・給与見直しに係る進め方 ほか
令和1年10月18日	1 令和元年度 第1回補正予算
	2 会計監査人の公募 ほか
令和1年11月18日	1 令和2年度 4月人材確保・給与見直し
	2 今後の経営改善を検討する仕組み ほか
令和2年1月31日	1 虐待防止体制の強化
	2 秋田県聴覚障害者支援センターの運営受託
	3 職員給与規則等の一部改正 ほか
令和2年3月5日	1 組織規則改正案等
	2 ハラスメント対策の強化
	3 新型コロナウイルスへの対応 ほか

(4) 経営会議

開催年月日	内 容
令和2年1月23日	1 職員提案審査
	2 今後の経営改善を検討する仕組み ほか

(5) 監事の監査

開催年月日	内 容
令和1年5月30日	平成30年度事業の執行状況及び収支決算状況

(6) 会計監査人の監査

開催年月日	実施箇所	内 容
令和1年5月30日	事 務 局	平成30年度事業執行及び決算
令和元年5月7日 ～5月10日	各 施 設	各施設(会計拠点区分)の期末監査
令和元年9月4日 ～9月26日		各施設(会計拠点区分)の期中監査

## 6. 職員

### 1. 職員の配置状況

令和2年4月1日現在

区 分	正（広域職員）	正（地域職員）	継続雇用	無期契約	有期契約	合計
事務局	11	0	0	0	1	12
北部老人福祉総合エリア	6	0	0	5	4	15
中央地区老人福祉総合エリア	6	0	0	4	9	19
南部老人福祉総合エリア	22	0	2	29	24	77
高 清 水 園	36	1	1	19	29	86
心身障害者コロニー	118	1	10	86	46	261
由利本荘地域生活支援センター	13	1	8	9	44	75
阿 桜 園	42	2	3	32	29	108
やまばと園	22	0	0	19	19	60
障害者支援センター御所野	19	1	0	3	4	27
点 字 図 書 館	1	0	1	3	3	8
聴覚障害者支援センター	1	1	1	1	1	5
計	297	7	26	210	213	753

区 分	正（広域職員）	正（地域職員）	継続雇用	無期契約	有期契約	合計
施設長等	13	0	2	0	0	15
課 長	19	0	0	0	0	19
事務員	33	1	1	23	22	80
支援員	183	6	21	134	124	468
保健師・看護師	20	0	0	2	5	27
栄養士	7	0	0	0	1	8
理学療法士	1	0	0	0	0	1
技 師	21	0	2	14	17	54
世 話 人	0	0	0	20	15	35
宿直専門員	0	0	0	11	20	31
その他	0	0	0	6	9	15
計	297	7	26	210	213	753

### 2. 職員数の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
正 職 員	290	290	298	304	299	304
継続雇用職員	16	21	22	19	23	26
無期契約職員	—	—	—	—	187	210
有期契約職員	430	439	438	437	228	213
計	736	750	758	760	737	753

3. 正職員の採用実績等

職種	採用区分	平成28	平成29	平成30	令和1	令和2	
福祉職	大学卒	広域職	3	8	2	6	4
		地域職					0
	短大卒	広域職	2	1	2	2	1
		地域職					0
	高校卒	広域職	1	3	4	0	2
		地域職					2
	職務経験	広域職	4	11	5	6	3
		地域職					4
福祉職 計		10	23	13	14	16	
看護職		2	0	2	3	1	
栄養士		1	0	0	0	0	
技能職		0	0	0	0	0	
看護職	年度途中	1	0	0	1	0	
栄養士	年度途中	0	1	0	0	0	
技能職	年度途中	0	0	1	0	0	
専門職 計		4	1	3	4	1	
最近の採用実績 計		14	24	16	18	17	

職種	離職区分	平成28	平成29	平成30	令和1	令和2
福祉職	定年退職	10	4	13	6	5
看護職		0	1	2	0	1
栄養士		0	0	0	0	0
技師		0	0	0	3	4
定年退職 計		10	5	15	9	10
福祉職	早期退職	5	5	5	4	0
看護職		0	0	0	0	0
栄養士		1	0	0	0	0
技師		0	0	3	0	0
早期退職 計		6	5	8	4	0
最近の離職者数 計		16	10	23	13	10

各年度4月1日現在

職種	平成28	平成29	平成30	令和1	令和2
福祉職	240	248	252	249	255
看護職	15	16	17	18	20
栄養士等	9	8	9	8	8
技師	26	26	26	24	21
職員数 計	290	298	304	299	304

※栄養士等 栄養士、理学療法士、作業療法士

## 7. 研修の実施状況

### 1 法人研修

#### (1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
4月24～25日 (2日間)	新任職員研修(平成31年度新規採用職員等)	秋田大学講師 ほか	18人
5月29日	管理職員研修(労務管理研修)	千秋労務協会 社会保険労務士職員 ほか	22人
6月27日	中堅等職員研修(OJT研修)	㈱ビィ・ウィズ 中安 留美氏 ほか	17人
8月22日	新任職員研修Ⅱ(チームアプローチ)	外旭川病院 寺永 守男氏 ほか	19人
10月15、17日 (2日間)	中堅職員研修(特定処遇改善加算に伴う研修)	事務局職員 2名	81人

#### (2) 特別研修

##### ① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
6月21日	第6回相談支援連絡会	法人職員	17人
7月10日	ケアマネジメント研修(初級)	法人職員 2名	18人
9月20日	ケアマネジメント研修(中級)	青森県相談支援専門員等協会 会長 長谷川 さとみ氏 ほか	28人
10月30日	ペアレント・トレーニング研修	NPO法人紫波さぶり 理事長 細川 恵子氏	14人
11月26日	第1回サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者連絡会	法人職員	17人
12月12日	強度行動障害支援者養成研修フォローアップ研修	自閉症eサービス 代表 中山 清司氏	85人
12月12日	実践発表会		61人
	実践報告1「特定施設入居者生活介護事業のその後」	南部老人福祉総合施設エリア 支援員 嶋田 友紀	法人外 13人
	実践報告2「障害児入所施設からの地域移行」	阿桜園 支援員 高橋 尋之	
	講評・助言	秋田大学教育文化学部 こども発達・特別 支援講座 講師 鈴木 徹氏	
12月16日	基調講演「こころの状況をつむぐ支援」	社会福祉法人みぬま福祉会工房集 管理者 宮本 恵美氏	合計 74人
12月16日	第7回相談支援連絡会	合同会社AC-net. 田原 孝之氏	16人

##### ② 一般研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
10月2～4日	職員提案型視察研修(北海道)	社会福祉法人光の森学園 ほか	6人
10月3～4日	職員提案型視察研修(宮城県)	社会福祉法人なのはな会 ほか	5人
10月11～12日	職員提案型視察研修(富山県)	NPO法人しおんの家 ほか	4人
1月30日	防災研修	秋田大学地方創生センター(地域防災部 門) 教授 水田 敏彦氏	23人
3月3日	令和2年4月1日付け新規採用内定者に対する事前研修	㈱ビィ・ウィズ 中安 留美氏 ほか	17人

## 本部事務局

### 1 法人外研修

#### (1) 特別研修

##### ① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
4月24日	全国社会福祉法人経営者協議会 社会福祉法人制度改革事務担当者フォローアップセミナー	全国経営協制度・政策委員会 ほか	1人
7月24日	都道府県経営協セミナー(前期)	全国経営協 地域共生社会推進委員会委員	1人
8月3～5日	社会福祉法人全国社会福祉協議会 社会福祉法人経営者研修会人事管理コース	株式会社ナレッジ・マネジメント・ケア研 究所 統括フェロー 宮崎 民雄氏 ほか	1人
11月6日	強度行動障害支援者養成研修フォローアップ研修	社会福祉法人同愛会 竹矢 亘氏 ほか	1人
11月7～8日	第53回全国社会福祉事業団大会	NPO法人福祉フォーラム・ジャパン 副会長 宮武 剛氏 ほか	3人
11月13日、18日	秋田県社会福祉法人経営者協議会 社会福祉法人会計実務者研修 初級クラス・中級クラス	鈴木森公認会計士事務所 公認会計士・税理士 鈴木 森氏 ほか	1人
11月21～22日	北海道・東北ブロック社会福祉事業団連絡協議会職員研修Ⅰ	小黒芳朗法律事務所 弁護士 小黒 芳朗氏 ほか	2人
11月21～22日	あきたケアマネジメントネットワーク協会研修	熊本学園大学社会福祉学部 教授(弁護士) 東 俊裕氏 ほか	1人
1月30～31日	全国社会福祉法人経営者協議会 社会福祉法人人事・労務管理講座	全国経営協 福祉人材対策委員会委員長 ほか	1人
2月7～9日	アメニティフォーラム24	アメニティフォーラム実行委員会 代表 田中 正博氏 ほか	2人

##### ② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
2月20～21日	北海道・東北ブロック社会福祉事業団連絡協議会職員研修Ⅱ	日本虐待防止研修・研修センター 代表 梶川 義人氏	2人

## 秋田県北部老人福祉総合エリア

### 1 事業所内研修

#### (1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
4月4日	転任職員研修	北部老人福祉総合エリア職員	2人

#### (2) 特別研修

##### ① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
9月30日	3エリア合同研修	㈱ビー・ウィズ 中安 留美 氏	9人

### 2 法人外研修

#### (1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
5月23日	交通安全運転管理者講習会	大館警察署長 ほか	1人
7月26日	危険物取扱者保安講習	秋田県危険物安全協会 ほか	1人
1月15日	公衆浴場施行条例・旅館業法施行条例の一部改正に関する事業者説明	大館保健所	3人

## 秋田県中央地区老人福祉総合エリア

### 1 事業所内研修

#### (1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
4月3日	新任職員研修 (転任者)	中央地区老人福祉総合エリア職員	1人
4月9日	新任職員研修 (新規契約職員)		1人
5月8日	新任職員研修 (新規契約職員)		1人
7月1日	新任職員研修 (新規契約職員)		1人

#### (2) 特別研修

##### ① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
9月30日	3エリア合同接遇マナー研修	㈱ビー・ウィズ 中安 留美 氏	13人

##### ② 一般研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
1月24日	普通救命講習 I	秋田南消防署 救急救命士	6人

### 2 法人外研修

#### (1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
6月10日	交通安全運転管理者法定講習会	秋田県警察署交通課職員 ほか	1人

#### (2) 特別研修

##### ① 一般研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
7月19～21日	上級救命講習	日本赤十字社秋田県支部	1人

## 秋田県南部老人福祉総合エリア

### 1 事業所内研修

#### (1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
4月4日	新任職員・転任職員オリエンテーション	南部老人福祉総合エリア職員	9人
6月4日	消防設備・公用車輛の操作研修		1人
12月24日	新任職員オリエンテーション		4人

#### (2) 特別研修

##### ① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
7月11日・18日	接遇研修	南部老人福祉総合エリア職員	15人

② 一般研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
6月13日	高齢者疑似体験研修	南部老人福祉総合エリア職員	15人
6月14日・20日	感染症予防対策研修	南部老人福祉総合エリア職員	34人
8月6日	救命法研修会	日本赤十字社秋田県支部社員	11人
10月29日	不審者対応研修	横手警察署員	9人
11月26日	感染症予防対策研修	横手保健所職員	16人
2月5～6日	スピーチロック研修	南部老人福祉総合エリア職員	27人
2月19～20日	虐待防止研修	南部老人福祉総合エリア職員	全員

2 法人外研修

(1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
7月11～12日	キャリアパス対応生涯研修	C&P,etc 代表 尾崎 眞三 氏	1人
11月27～28日	秋田県老人福祉施設長研修会 I	淑徳大学総合福祉学部 社会福祉学科教授 結城 康博 氏 ほか	1人
3月5～6日	秋田県老人福祉施設長研修会 II	ふくしえん社労士事務所 代表 後藤 功太 氏	1人

(2) 特別研修

① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
9月6日	第2回認定調査員新任者研修会	秋田県健康福祉部長長寿社会課職員	2人
11月21～23日	サービス提供責任者初任者研修	日本ホームヘルパー協会 名誉会長 因 利恵 氏 ほか	1人
11月15日	居宅介護支援専門員研修会	あたご研究所 代表理事 後藤 佳苗 氏	1人

② 一般研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
6月19日	カウンセリング研修	秋田産業保健総合支援センター 産業保健 相談員・メンタルヘルス対策促進員 寺田 誠 氏	1人
7月18～19日	平成31年度施設等相談援助職員研修	尚綱学院大学 特任教授 安田 勉 氏	1人
7月26日	在宅緩和ケア研修	みさと在宅診療所 院長 佐藤 浩平 氏	1人
7月29日	介護力向上セミナー	杜の風・上原特別養護老人ホーム 正吉苑 施設長 齊藤 貴也 氏 ほか	1人
7月31日	認知症研修	介護老人保健施設老健おもり職員	1人
8月2日	大森地区栄養勉強会	市立おもり病院 看護師 伊藤 聖美 氏	2人
8月7日	介護従事者講座	介護老人保健施設西風苑 支援相談員 岩佐 慎吾 氏	1人
8月17日	秋田県結核対策全県研修会・産業医研修会	県健康福祉部保健・疾病対策課職員 ほか	1人
8月19日	ロジカルシンキング研修	㈱インソース 手塚 英樹 氏	1人
8月23日	ケアマネジメント研修会	横手市市民福祉部高齢ふれあい課職員	2人
9月7日	第2回秋田県南連携実務者NW「県南ほっこりネット」研修会	雄勝中央病院管理栄養士 佐々木 英乃 氏 ほか	1人
9月11日	カウンセリング研修	秋田産業保健総合支援センター 産業保健相談員 阿部 洋子 氏	1人
9月13日	地域医療連携職員研修・交流会	市立横手病院 感染対策室 小川 伸 氏	1人
9月18日	横手市介護支援専門員・相談員・サービス管理責任者等合同研修	横手興生病院 臨床心理士 松田 陽一 氏 ほか	1人
9月19日	高齢者対応向けゲートキーパー養成講座	市立秋田総合病院 精神科科長 内藤 慎吾 氏 ほか	2人
9月25日	在宅医療・介護多職種連携ブロック別研修会	地域包括支援センター 佐藤 徳昭 氏	2人
9月30日	接遇マナー基本研修	㈱ビー・ウイズ 中安 留美 氏	10人
10月11日	就労支援セミナー	㈱夢ガーデン 代表取締役社長 野口 邦夫 氏 ほか	1人
10月18日	福祉保健施設・事業者等事務職員研修	東北コミュニケーション研究所 代表 安島 和仁 氏 ほか	1人
10月25日	自立支援型地域ケア会議実践研修	地域密着型特別養護老人ホーム うぐいす城東 係長 鈴木 克昌 氏 ほか	1人
10月30日	産業保健セミナー	秋田産業保健総合支援センター 相談員 工藤 康嗣 氏	1人
10月30～31日	養護老人ホーム合同職員研修会	秋田聖徳会養護老人ホーム 施設長補佐 荒谷 亨 氏 ほか	1人
11月5日	養護・軽費老人ホーム・ケアハウス研修会	養護老人ホーム聖ヨゼフ・ホーム 総合施設長 平岡 毅 氏	1人
11月15日	働き方改革関連法及び治療と仕事の両立支援に関する講習会	横手労基署 署長 北林 浩之 氏 ほか	1人
11月29日	リハビリテーション科ケアシリーズ	秋田県立リハビリテーション科 診療部長 荒巻 晋治 氏 ほか	2人
12月12日	人生会議（ACP）に関する多職種研修会	市立大森病院 院長 小野 剛 氏	2人
12月13日	リスクマネジメント研修	福祉リスクマネジメント研究所長 びわこ学院大学 教授 鳥野 猛 氏	1人
2月14日	秋田県医師会うつ自殺予防対策研修会・産業医研修	大曲厚生医療センター 緩和ケア認定看護師 大河 弘子 氏 ほか	1人
2月26日	健口づくり連携推進研修会	ほそや歯科医院 細谷 養幸 氏	1人
2月28日	誤嚥予防研修会	ジュネスデンタルクリニック 院長 小菅 一弘 氏 ほか	3人
3月13日	介護保険等研修会	ケアレックス（株）管理本部 担当課長 羽田 優治 氏 ほか	2人

# 高 清 水 園

## 1 事業所内研修

### (1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講 師	参加人員
4月2～5日	新任・転任職員研修	高清水園職員	13人
6月6～13日	福祉サービスの基礎知識	高清水園職員	58人
6月7～10日	中途採用契約新任職員研修(研修内容は上記同様)	高清水園職員	2人
10月21～23日	中途採用契約新任職員研修(研修内容は上記同様)	高清水園職員	1人
2月10～14日	相談支援事業の基礎知識	高清水園職員	36人

### (2) 特別研修

#### ① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講 師	参加人員
7月4日	誤薬防止研修	高清水園職員	11人
7月24日	評価キット実践研修	(株)OHANA 佐藤 宏満 氏	6人
9月26日	利用者の健康管理と疾病	高清水園職員	20人
10月7～11日	障害者支援施設職員の基礎知識	高清水園職員	58人
10月24日	感染症予防	高清水園職員	14人
8月～1月	被支援体験者研修	高清水園職員	24人

#### ② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講 師	参加人員
7月31日	障害者虐待防止研修	高清水園職員	18人
12月23～27日	障害者虐待防止・権利擁護伝達研修	高清水園職員	78人
2月20日	支援アドバイザー研修	秋田大学教育文化学部 こども発達特別支援講座 講師 鈴木 徹 氏	16人

#### ③ 一般研修

開催月日	研修内容	講 師	参加人員
11月15日	救命救急講習	秋田南消防署員	15人
11月28日	接遇研修	高清水園職員	9人

## 2 法人外研修

### (1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講 師	参加人員
5月22～23日	福祉保健施設・事業者等職員新任研修	特養ホームビハラ横手 施設長 鈴木 卓 氏 ほか	1人
12月10～11日	課題別研修 1	東北コミュニケーション研究所 代表 安島 和仁 氏	2人
12月3日	課題別研修II(福祉実践2019inあきた)	東北福祉大学 教授 田中 尚 氏	2人

### (2) 特別研修

#### ① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講 師	参加人員
6月5～7日	強度行動障害支援者養成研修(指導者研修;実践)		1人
7月22～23日	全国的障害関係施設長等会議	明治学院大学 名誉教授 中野 敏子 氏 ほか	2人
8月30日	相談支援及びサビ管・児発管指導者・ファシリテーター養成研修	合資会社 Ac-net.	1人
9月11～12日	県強度行動障害支援者養成研修(基礎)	県立医療療育センター 医師 渡部 泰弘 氏 ほか	2人
9月25～26日	福祉新聞フォーラム	公認会計士 渡部 博 氏 ほか	1人
9月25～26日	サービス管理責任者研修(初任研修共通)	相談支援事業所ヴィーヴルあきた 伊藤 清貴 氏 ほか	2人
9月26～27日	東北地区知的障害者福祉協会 専門研修会	社会福祉法人光林会地域生活支援センター しおん サビ管 高橋 雅美 氏	1人
9月27日	秋田県知的福祉協会専門研修会	県介護福祉士会 理事 藤巻恵梨子 氏 ほか	3人
9月30日	福祉事業部スキルアップ研修 新任者研修・障害編(栄養士)	地域連携・研究推進センター センター長 大和田浩子 氏	1人
10月8～9日	県強度行動障害支援者養成研修(実践)	後三年鴻声の里 安藤 拓哉 氏 ほか	2人
10月15～16日	相談支援・就業支援セミナー	(株)エス・プラス 社長 和田 一紀 氏	1人
10月16日	福祉保健施設・事業者等看護師研修	秋田厚生医療センター 看護師 水野 住恵 氏	1人
10月22～24日	全国的障害福祉関係職員研究大会	しょうぶ園 施設長 福森 伸 氏 ほか	1人
10月24～25日	サービス管理責任者研修(基礎研修A)	複合施設ばあとなあ 鶴沼 美樹子 氏 ほか	1人
10月30～31日	サービス管理責任者研修(基礎研修B)	県社会福祉士会 和田 士郎 氏 ほか	1人
11月7～8日	東北地区知的障害者福祉協会 東北フォーラムinあきた	メンタルトレーナー 加藤 史子 氏	4人
11月8～9日 12月5～6日	秋田県医療のケア児等コーディネーター養成研修	県立医療療育センター職員 ほか	1人
11月20～21日	地域支援セミナー	(株)電通パブリックリレーションズ 営業推進局 大日向 邦子 氏 ほか	2人

11月28～29日	第8回障害者支援施設部会全国大会	社会福法人常盤会 理事長 久木元 司 氏 ほか	1人
12月2日	県強度行動障害支援者養成研修フォローアップ研修	自閉症eサービス 代表 中山 清司 氏	10人
12月19～20日	共生社会フォーラムin岩手	認定特定非営利活動法人 抱僕 奥田 知志 氏 ほか	2人
2月8日	あきたペアレントトレーニング勉強会	県立医療療育センター 小児科 澤石由記夫 氏 ほか	1人
2月7～9日	アメニティフォーラム	アメニティフォーラム実行委員会	3人

## ② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
6月10～12日	(視察研修) (福) やまなみ会 やまなみ工房 ～滋賀県	施設長 山下 完和 氏	3人
6月19～21日	(視察研修) (福) 北檜杉の子会 萩の杜 他2施設	施設長 松上 利男 氏 ほか	2人
8月27日	県知的障害者福祉協会 事業所視察研修	愛仙・愛仙の華 仙北市西木町	2人

## ③ 一般研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
2月6～7日	災害対策技術展	中央省庁 国立研究開発法人 防災科学技術研究所職員 ほか	3人

# 秋田県心身障害者コロニー

## 1 事業所内研修

### (1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員	
4月4日	新任職員・未受講者研修	コロニー職員	15人	
4月19日	医療担当者研修		7人	
4月26日	支援費請求・実績担当者研修		7人	
5月9日	新任職員・未受講者研修		15人	
5月21日	統括指導者養成研修		20人	
10月24日	中堅職員研修		12人	
10月24日	感染症対応研修 (新任・中途採用者対象)		9人	
12月24日	成年後見制度について		秋田地方法務局本荘支店 国安 智之 氏	17人

### (2) 特別研修

#### ① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
2月6日	強度行動障害支援者養成研修伝達研修	コロニー職員	9人

#### ② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
6月28日	障害者差別解消法の基礎知識	基幹相談支援センター 相談支援専門員 和田 光子 氏	12人
11月22日	秋田県立リハビリテーション・精神医療センター見学	秋田県立リハビリテーション・精神医療センター職員	6人
12月19日	人権擁護と虐待防止について	やまばと園 主査 後藤 裕介	18人
11月5, 6, 11, 13, 14, 28日	虐待防止について	コロニー職員	188人

#### ③ 一般研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
7月11日	救急救命講習	由利本荘消防署員	16人
7月17日	接遇研修	コロニー職員	16人
9月19日	地域講演会	秋田大学 准教授 鈴木 徹 氏	120

## 2 法人外研修

### (1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
5月22～23日	平成31年度福祉保健施設・事業者等職員新任研修	ウェルビューいずみ障害福祉サービスセンター 施設長 佐々木 宏幸 氏 ほか	1人
7月11～12日	平成31年度キャリアパス対応生涯研修 (中堅職員コース)	C&P、etc(チャイルド&ペアレント、エトセトラ) 代表 尾崎 真三 氏	2人
6月20日	由利本荘市障がい者支援協議会施設・事業者部会研修	由利本荘市 福祉支援課職員	2人
7月16～17日	平成31年度福祉保健施設・事業者等職員新任研修	特別養護老人ホームビハーク横手 総括施設長 鈴木 卓 氏 ほか	1人
8月1～2日	平成31年度キャリアパス対応生涯研修 (管理職員コース)	合資会社泉恵造研修企画工房 代表社長 泉 恵造 氏	2人
8月19日	ロジカルシンキング研修	株式会社インソース 手塚 英樹 氏	1人
8月9日	怒りのマネジメント研修	株式会社インソース 若山 博美 氏	1人
9月30日	OJTリーダー研修	株式会社話し方教育センター 伊丹 明子 氏	2人
9月9日	由利本荘市障がい者支援協議会施設・事業者部会研修	①ぐんぐん②ほのぼの岩城③あきた病院	1人

10月16日	事業者等看護職員研修	秋田厚生医療センター 感染管理認定看護師 水野 住恵 氏 ほか	1人
10月24日	事業者等事務職員研修	東北コミュニケーション研究所 代表 安島 和仁 氏	1人
10月31日 11月29日	令和元年度 エルダーメンター養成研修	社会保険労務士法人ヒューマンスキルコンサルティング代表社員 林 正人 氏	2人
11月8～9日	令和元年度東北地区社会就労センター協議会職員研修	株式会社S.Yワークス人財創造本部福祉活性化チーム 田中 貴士 氏 ほか	1人
11月12～13日	平成31年度福祉保健施設・事業者等職員新任研修	ウェルビューいずみ障害福祉サービスセンター 施設長 佐々木 宏幸 氏 ほか	1人
10月31日～11月1日 11月26～27日	平成31年度安心・安全な介護教室 基本編	生活とリハビリ研究所 研究員 三好 春樹 氏	3人
11月7～8日	東北地区知的障害者福祉協会職員研修大会 東北フォーラムinあきた	JIC北東北支店 支店長 佐々木 貴志 氏 ほか	2人
11月29日	秋田県看護資質向上研修Ⅱ	がん看護専門看護師横浜市立市民病院がんセンター担当 副部長 小迫 富美恵 氏	1人
12月3日	福祉実践2019 in あきた	東北福祉大学総合福祉学部 教授 田中 尚 氏	2人
12月10～11日	平成31年度課題別研修Ⅰ 指導的職員に求められる知識・技術	東北コミュニケーション研究所 代表 安島 和仁 氏	4人
12月14～15日	就労支援フォーラムNIPPON2019	農林水産省農村振興局農村政策部都市農村交流課都市農業室 室長 難波 良多 氏 ほか	2人
12月19～20日	共生社会フォーラム in 岩手	日本舞踊花柳流 花柳 光明子 氏 ほか	3人
1月28日	令和元年度障害者福祉関係合同研修	社会福祉法人カナンの園 所長 阿部 孝司 氏 ほか	2人
2月20～21日	北海道・東北ブロック社会福祉事業団連絡協議会職員研修Ⅱ 虐待を生まない組織づくり	日本虐待防止研修・研修センター 代表 梶川 義人 氏 ほか	2人
2月27日	由利本荘市障がい者支援協議会施設・事業者部会研修	秋田県社会福祉事業団事務局 係長 工藤 摂子 氏	9人

## (2) 特別研修

### ① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
4月23日	平成31年度秋田県介護職員等によるたん吸引等研修不特定(第一号・二号研修)指導者養成講習	秋田県社会福祉協議会	1人
5月30～31日	平成31年度(2019年度)水道技術ブロック別研修会	公益社団法人日本水道協会	1人
6月25日	令和元年度食品衛生責任者研修会	公益社団法人秋田県食品衛生協会	1人
6月26日	障害程度区分認定調査員および市町村審査委員会研修	秋田県健康福祉部障害福祉課	1人
7月24日	自閉症のための現場評価キットの取り扱い研修	高清水園研修 株式会社OHANA 代表取締役社長 佐藤 宏満 氏	1人
7月20日	2019年度福祉事業部スキルアップ研修会 ～初任者研修・障害編～	厚生労働省障がい福祉課障害児・発達支援者支援室 発達障害対策専門官 加藤 永蔵 氏	1人
7月26～27日	アーク溶接等の業務に係る特別教育		1人
8月20日	2019年度危険物取扱者保安講習(法定講習)	秋田県危険物安全協会連合会	2人
8月22日～	たん吸引等研修	秋田県社会福祉協議会	2人
8月30日	相談支援従事者支援者及びサービス管理責任者・児童発達支援責任者 指導者・ファシリテーター養成研修	合同会社Ac-net.	2人
9月12日	令和元年度秋田県高齢者看護研修	老人看護専門看護師 桑田 美代子 氏 ほか	1人
9月20日	令和元年度相談支援専門員・サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者ケアマネジメント研修	相談支援事業所藤 長谷川 さとみ 氏 ほか	1人
9月25～26日 10月24～25日	令和元年度サービス管理責任者 基礎研修	社会福祉法人雄勝なごみ会 施設長 鶴沼 美樹子 氏 ほか	2人
9月25日～	相談支援従事者初任者研修	合同会社Ac-net.	1人
10月1日	令和元年度共同受注推進セミナー	日本セルフセンター事務局 森田 泰仁 氏 ほか	2人
10月22日	第16回 支援者のための成年後見活動講座	権利擁護センターばあとあ秋田職員 成年後見センター・リーガルサポート あきた 幹事 司法書士 梅崎 昌弘 氏	3人
11月6日	強度行動障害支援者養成研修フォローアップ研修	国立重度知的障害者総合施設のぞみの園	1人
11月17～18日	令和元年度サービス管理責任者及び児童発達支援責任者研修更新研修	秋田県健康福祉部障害福祉課 副主幹 南野 久男 氏 ほか	7人
11月21～22日	日本基盤ネットワーク全国大会	首都圏基盤ネットワーク ぶれいず 鶴見 氏 ほか	1人
11月29日	令和元年度就労支援推進フォーラム	日本赤十字秋田短期大学 介護福祉学科教授 湊 直司 氏	1人
12月4日	令和元年度由利本荘市障害者サポーター養成講座	秋田県障害福祉課職員 秋田県精神保健福祉会連合会 会長 阿部 文博 氏 ほか	1人
12月14～15日	自閉症研修2019 行動障害から学ぶ ～支援をあきらめないために～	国立リハビリテーションセンター 加藤 潔 氏	2人
12月20日	食品表示セミナー	秋田県生活環境部県民生活課 主事 古関 亜美 氏 ほか	1人
1月15日	HACCPの考え方を取り入れた衛生管理講習会	秋田県由利地域振興局職員	2人
1月31日	2019年度第31回こうさい療育セミナー	弘済学園 園長 高橋 潔 氏	1人
2月7～9日	アメニティフォーラム24		2人
2月21日	エネルギー管理講習(資質向上研修)	一般社団法人省エネルギーセンター	1人

## ② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
7月10日	カウンセリング研修	寺田心理教育研究所 所長 寺田 誠 氏	3人
8月6日	産業保険セミナー	障害者職業カウンセラー 佐藤 桃子 氏	3人
1月23日	緊急感染症セミナー	由利本荘市医師会	1人

## ③ 一般研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
11月8日	整備管理者選任後講習会	東北運輸局秋田運輸支局 ほか	1人
11月11日	2019 AKITA 介護ロボット展	秋田県健康福祉部長寿社会課	3人
11月22日	由利本荘市危険物安全協会実務研修会	(株)ノバーク 代表取締役 加藤 貴史 氏 ほか	1人
12月11日	公正採用選考人啓発推進員研修	秋田労働局職業安定課 ほか	2人

## 由利本荘地域生活支援センター

### 1 事業所内研修

#### (1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
4月 4日 6月 5日 8月22日 10月 3日 2月13日	新任及び転任職員研修	支援センター職員	15人
4月23日	防災研修		3人
4月25日 6月19日 8月22日 10月 3日	〇JT研修		13人
5月16日	障がい者の理解		14人
7月17日	記録の書き方研修		25人
11月26日	福祉用具体験研修(介護技術習得研修)		9人

#### (2) 特別研修

##### ① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
10月30日～ 11月1日	体験研修	NPO法人 逢い 障がい者支援事業所職員	1人

##### ② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
5月24日	ゆり支援学校視察	ゆり支援学校職員	12人
7月11日	制度理解研修	支援センター職員	20人
12月16日 12月17日 12月18日 12月19日	障害者虐待防止・権利擁護伝達研修		72人

##### ③ 一般研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
9月30日	感染症研修	由利地域振興局 福祉環境部職員	10人
10月17日	支援アドバイザー研修	秋田大学教育文化学部 准教授 鈴木 徹 氏	22人
10月31日	応急手当講習会	本荘消防署 救急班職員	10人
12月10日	体験型研修(ワールドカフェ)	支援センター職員	16人
2月28日	てんかんについて	支援センター職員	19人

### 2 法人外研修

#### (1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
7月11日	キャリアパス対応障害研修過程《福祉職員中堅職員コース》	C&P, etc. 代表 尾崎 眞三 氏 ほか	1人

(2) 特別研修  
① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
8月2, 28, 29日	相談支援従事者現任研修	県障害福祉課職員 湯沢市社会福祉協議会 赤平 一夫 氏 ほか	5人
8月21日	グループホーム世話人等研修会	法人職員 秋田笑いヨガ ティーチャー 伊藤 晴美 氏	2人
8月29～30日	全国グループホーム等研修会in千葉	厚生労働省障害福祉保健部障害福祉課 高橋 邦彦 氏 ほか	2人
9月11～13日	相談支援従事者指導者養成研修会	東京大学 准教授 熊谷 晋一郎 氏 ほか	1人
9月13日	秋田県地域生活定着促進セミナー	地域生活定着支援センター センター長 豊澤 公栄 氏 ほか	2人
9月25～26日 10月24～25日	サービス管理責任者(児童発達支援管理責任者)研修	かざぐるま 施設長 鶴沼 美樹子 氏 ほか	1人
10月15～16日	相談支援・就業支援セミナー	(株)エス・プラス 社長 和田 一紀 氏 ほか	1人
10月16日	福祉保健施設・事業者等看護職員研修	秋田厚生医療センター 水野 住恵 氏	1人
10月27日	重症児者・医ケア児対応 スキルアップ全国研修	地域ケアさぼーと研究所 下川 和洋 氏	1人
11月7～8日	サービス管理責任者等更新研修	県障害福祉課 南野 久男 氏 ほか	6人
11月8～9日	医療的ケア児等支援者養成研修及び医療的ケア児等	県立医療療育センター職員 ほか	2人
11月21～22日	北海道・東北ブロック研修秋田県大会	熊本学園大学 教授 弁護士 東 俊裕 氏 ほか	3人
11月26日 12月25日	成年後見制度利用促進実務研修会	厚生労働省 西村 慎太郎 氏 ほか	2人
9月9日	由利本荘市障がい者支援協議会施設・事業者部会研修会	自立支援センター ほのぼの岩城 ほか	3人
9月13日	福祉保健施設等職員メンタルヘルス研修	仙台心理カウンセリング 代表 田村 みえ 氏	1人
9月19日	秋田県心身障害者コロニー 地域講演会	秋田大学教育文化学部 准教授 鈴木 徹 氏	4人
9月27日	知的障害者福祉協会専門研修会	県介護福祉士会 理事 藤巻 恵梨子 氏 ほか	2人
10月30日	シンポジウム 「障害のある人もない人も共に生きる社会とは」	由利地域振興局 部長 相澤 寛 氏 ほか	2人
11月7～8日	東北地区知的障害者福祉協会 職員研修大会	夢の実現を応援するメンタルトレーナー 加藤 史子 氏 ほか	2人
11月13日	中央地区精神保健福祉研修会	由利地域振興局 主査 池田 栄子 氏 ほか	1人
11月14日	産業保健セミナー	秋田産業保健総合支援センター 保坂 雅和 氏	1人
12月4日	由利本荘市障がい者支援協議会施設・事業者部会研修会	県障害福祉課職員 県精神保健福祉会連合 会会長 阿部 文博 氏 ほか	3人
12月5～6日	令和元年度障害者支援事業合同協議会	県障害福祉課職員 県障害福祉団体協議会事務局職員 ほか	1人
12月17日	思春期問題研修会	北海道教育大学 准教授 本田 真大 氏	1人
12月19～20日	共生社会フォーラムin岩手	認定特定非営利活動法人 抱樸 理事長 奥田 知志 氏 ほか	1人
1月17日	依存症対策研修会	埼玉県立精神保健福祉センター 副病院長 成瀬 暢也 氏 ほか	3人
2月27日	由利本荘市障がい者支援協議会施設・事業者部会研修会	秋田県社会福祉事業団 事務局 工藤 撰子 氏	6人

② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
6月7日	福利厚生センター接遇講習会	トータルマナー(株) 田野 直美 氏	1人

③ 一般研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
6月20日	由利本荘市障がい者支援協議会施設・事業者部会研修会	由利本荘市職員	4人
6月21日	衛生委員会と安全衛生活動(初任者向け)	産業保健相談員 斉藤元一氏	1人

阿 桜 園

1 事業所内研修

(1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
4月2日 6月12日 9月5日 10月4日 12月26日	転任・新任職員研修	阿桜園職員	30人
4月16日	OJT指導者研修		4人
5月22日	ハイクオリティサービス推進システム研修		6人
7月30日	感染症予防対策研修		12人
9月24日	不審者対応研修	横手警察署員	11人
12月4日	感染症予防対策研修	横手市保健所 保健師 今野 早也香 氏	20人

(2) 特別研修

① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
6月18日	介護技術研修	やまばと園 相談支援専門員 阿部 和広 氏	16人

② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
7月19日	第1回虐待防止研修	阿桜園職員	23人
12月3, 10, 13日 1月7日	第2回虐待防止研修		90人
1月23～29日	障害者虐待防止・権利擁護研修(伝達)		75人

③ 一般研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
5月28日	普通救命講習	横手消防署 菊池 翔 氏 ほか	10人
5月31日	日誌記録・ケース記録研修	阿桜園職員	16人
8月1日	個別支援計画書作成研修		17人

2 法人外研修

(1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
7月16～17日	福祉保健施設・事業者等職員新任研修	ウェルビューいずみ障害福祉サービスセンター施設長 佐々木 宏幸 氏 ほか	1人
10月28～29日	キャリアパス対応生涯研修課程管理職員コース	合同会社泉恵造研修企画工房 代表社員 泉 恵造 氏	1人

(2) 特別研修

① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
6月8日	第18回自閉症初級セミナー	GOOD job奥州 代表 佐々木 千枝 氏 ほか	2人
6月24～25日	平成31年度研修担当職員研修	合同会社泉恵造研修企画工房 代表社員 泉 恵造 氏	1人
7月11～12日	キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員コース	C&P, etc 代表 尾崎 慎三 氏 ほか	1人
7月30～31日	キャリアパス対応生涯研修課程チームリーダーコース	合同会社泉恵造研修企画工房 代表社員 泉 恵造 氏	1人
8月17日	第3回自閉症学習会	岩手県立大学 藤野 好美 氏	1人
8月19日	平成31年度ロジカルシンキング研修	株式会社インソース 手塚 秀樹 氏	1人
8月29～30日	全国グループホーム等研修会in千葉	障害福祉課地域生活支援推進室 室長補佐 高橋 邦彦 氏 ほか	1人
9月13日	福祉保健施設等職員メンタルヘルス研修	仙台心理カウンセリング 代表 田村 みえ 氏	1人
9月17日	平成31年度施設給食担当職員研修	秋田県立リハビリテーション・精神医療センター栄養管理室 主任 武藤 直将 氏 ほか	1人
9月20日	令和元年度 県南地区給食施設関係者研修会	地域振興局福祉環境部環境指導課職員 ほか	1人
9月27日	平成30年度秋田県知的障害者福祉協会専門研修会	秋田県介護福祉士会 理事 藤巻 恵梨子 氏 ほか	2人
9月30日	平成31年度 OJTリーダー研修	株式会社話し方教育センター 伊丹 明子 氏	1人
10月31日 ～11月1日	平成31年度「安心・安全な介護技術教室基本編」	生活とリハビリ研究所 研究員(代表) 三好 春樹 氏	1人
11月7～8日	令和元年度サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者研修	秋田県健康福祉部障害福祉課 副主幹 南野 久男 氏 ほか	5人
11月21～22日	令和元年度北海道・東北ブロック社会福祉事業団協議会職員研修I	小黒芳朗弁護士事務所 弁護士 小黒芳朗 氏 ほか	1人
11月28～29日	平成31年度 地域福祉推進研修	特定NPO法人日本地域福祉研究所 副理事長 小野 敏明 氏	1人
12月2日	強度行動障害支援者養成研修フォローアップ研修	自閉症eサービス 代表 中山 清司 氏	2人
12月3日	福祉実践2019inあきた	北秋田市北部地域包括支援センター 保健師 嵩 春香 氏 ほか	1人
2月20日	令和元年度北海道・東北ブロック社会福祉事業団協議会職員研修	日本虐待防止研究・研修センター代表 桜 美林大学・淑徳大学短期大学部 兼任講師 梶川 義人 氏	1人

② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
6月7日	2019年度福利厚生センター接遇講習会	トータルマナー株式会社 代表取締役 田野 直美 氏	1人
6月26日	横手市障がい福祉サービス管理責任者研修会	横手市市民福祉部社会福祉課職員 ほか	2人
7月8日	施設見学	社会福祉法人グリーンローズ	3人
8月9日	怒りのマネジメント研修	株式会社インソース 若山 博美 氏	1人
8月21日	グループホーム世話人等会議	秋田県社会福祉事業団事業推進課 係長 工藤 摂子 氏 ほか	4人
9月11日	産業保健セミナー	秋田産業保健総合支援センター 産業保健相談員 メンタルヘルス対策促進員 産業カウンセラー 阿部 洋子 氏	1人

② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
9月18日	視察研修	厨房設備等見学 高清水園	7人
9月26～27日	令和元年度東北地区知的障害者福祉協会専門研修	東北地区知的障害者福祉協会 会長 井上 博 氏 ほか	2人
9月27日	先進地視察・体験研修	療育体験の実施 モモの家	4人
10月10～11日	第2回地域共生社会推進全国サミットinゆざわ	東京大学 名誉教授 大森 彌 氏 ほか	4人
11月6～7日	福利厚生センターメンタルヘルス講習会	(一財)秋田県民間社会事業福利協会	1人
11月22日	施設の概要説明・見学・体験	(社福)幸得会障害者支援施設黄金荘 施設長 得田 和明 氏	6人
11月28～29日	令和元年度第8回障害者支援施設部会全国大会新潟大会	新潟県知的障害者福祉協会 会長 桑原 和文 氏	2人
11月25～27日 12月2～4日	先進地視察・体験研修	山形県総合コロナー希望が丘 ひめゆり寮 寮長 加藤 春彦 氏	4人

③ 一般研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
5月24日	平成31年度県南障害福祉協議会総会	秋田県県南障害福祉協議会	3人
9月10日	障害者理解促進研修会	秋田県健康福祉部障害福祉課 副主幹 安岡 智彦 氏	1人
9月11日	令和元年度障害者理解促進（事業者向け）研修会	秋田県健康福祉部障害福祉課 副主幹 安岡 智彦 氏 ほか	1人
9月19日	令和元年度秋田県心身障害者コロニー地域講演会	秋田大学 准教授 鈴木 徹 氏	3人
11月24日	介護フェア 来て、見て、さわって 介護のこと2019	訪問診療院しん 西村 隆 氏 ほか	2人
12月17日	令和元年度思春期問題研修会	秋田県精神保健福祉センター 所長 清水 徹男 氏 ほか	1人

やまばと園

1 事業所内研修

(1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
4月2日 6月26日 10月18日 1月14,30日	転任・新任職員研修	やまばと園職員	18人

(2) 特別研修

① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
8月7日	障がいの理解・支援	やまばと園職員	10人
8月27日	個別支援計画と意思決定支援		22人
9月18～30日	介護技術研修		8人
10月1～14日	介護技術研修		12人
12月5日	触法障がい者への支援	秋田県地域生活定着支援センター 森 茂 氏	11人

② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
6月20,27日	虐待防止・身体拘束・権利擁護研修（グレーゾーンを考える）	やまばと園職員	52人
11月18日	虐待防止研修「移動支援の際のグレーゾーンを考える」（ロールプレイ研修）		12人
11月25日	虐待防止研修「虐待防止チェックリストからの検証」		27人
11月26日	虐待防止研修「食事支援の際のグレーゾーンを考える」（ロールプレイ研修）		15人
12月18日	コンプライアンス研修		19人
1月23日	虐待防止・権利擁護研修伝達研修		19人
1月29日	虐待防止研修「傷を発見した場合のグレーゾーンを考える」（ロールプレイ研修）		17人

③ 一般研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
4月16日	普通救命講習	湯沢雄勝広域市町村圏組合 消防署稲川分署	10人
5月21日	接遇・マナー研修	湯沢グランドホテル 営業部次長 吉川 政寛 氏	17人
5月31日 6月28日	感染症予防	やまばと園	13人

## 2 法人外研修

### (1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
5月22～23日	H31福祉保健施設・事業所職員新任研修	ウェルビューいずみ障害福祉サービスセンター 施設長 佐々木 宏幸氏 ほか	1人
6月24～25日	H31年度研修担当職員研修	合資会社泉恵造研修企画工房 代表社長 泉 恵造氏	1人
7月11～12日	H31年度キャリアパス対応障がい研修中堅職員コース	社会福祉法人東京聖新会 向台町地域包括支援センター センター長 近藤 崇之氏	1人
7月30～31日	H31年度キャリアパス対応チームリーダーコース	C&P、etc 代表 尾崎 眞三氏	1人
8月1～2日	H31年度キャリアパス対応管理職員コース	合資会社泉恵造研修企画工房 代表社長 泉 恵造氏	1人

### (2) 特別研修

#### ① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
6月6～7日	H31 東北地区知的障害者福祉協会定時総会・施設長連絡会	社会福祉法人佛子園 理事長 雄谷 良成氏	1人
6月21～22日	2019年度秋田県災害派遣福祉チーム員登録基礎研修	東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築 光一氏 ほか	1人
7月10日	平成31年度 福祉サービスに関わる苦情解決研修会	株式会社インソース 長澤 淳志氏	2人
7月13～14日	ポーター乳幼児教育プログラム初級研修	認定NPO法人日本ポーター協会 清水 直治氏 ほか	1人
7月22～23日	H31 全国知的障害関係施設長等会議	厚生労働省社会援護局 障害保健福祉部障害福祉課 課長 源河 真規子氏 ほか	1人
7月22～23日	H31 発達協会	和歌山大学 米澤 好史氏 ほか	1人
8月2日 8月28～29日	H31 相談支援従事者現任研修	秋田県障害福祉課 南野 久男氏	1人
8月11日	令和元年度発達障害普及啓発研修	文部科学省 初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官 田中 裕一氏 ほか	2人
9月8日	令和元年度秋田県発達障害支援センターペアレント・トレーニング基礎研修	office夢風舎 土屋 徹氏	2人
9月11日	令和元年度障害者理解促進（事業者向け）研修会	秋田県健康福祉部障害福祉課 安岡 智彦氏 ほか	2人
9月13日	H31 福祉保健等職員メンタルヘルス研修	仙台心理カウンセリング 田村 みえ氏	1人
9月20日	令和元年度相談支援専門員・サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者 ケアマネジメント研修	青森県相談支援専門員等協会 会長 長谷川 さとみ氏 ほか	1人
9月20～21日	H30 東北地区知的障害者福祉協会専門研修会	社会福祉法人虹の会 理事長 桜田 星宏氏	1人
9月24～25日	令和元年度 全国児童発達支援協議会東北ブロック大会	厚生労働省障害児支援専門官 鈴木 久也氏	1人
9月25～26日	H31相談支援従事者初任者研修（1～3日目）	雄勝なごみ会愛光園 菅 裕樹氏	3人
10月24～25日	サービス管理責任者研修	雄勝なごみ会ばあとなあ・かぎぐるま 施設長 鶴沼 美樹子氏 ほか	1人
10月17～19日	2019年度秋田県災害派遣福祉チーム員スキルアップ研修	東北福祉大学総合福祉学部 教授 都築 光一氏 ほか	1人
10月22日	支援者のための成年後見活用講座	権利擁護センターばあとなあ秋田成年後見センター・リーガルサポートあきた 梅崎 昌弘氏 ほか	2人
11月27日 12月5日	令和元年度発達障がい支援者実践研修会	湯沢市子育て支援総合センターすこやか 島津 ゆき子氏	2人
12月5日	平成31年度第2回福祉サービスに関わる苦情解決研修会（上級編）	株式会社インソース 長澤 淳志氏	2人

#### ② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
8月9日	H31 怒りのマネジメント研修	株式会社インソース 若山 博美氏	1人
8月19日	H31 ロジカルシンキング研修	株式会社インソース 手塚 英樹氏	1人
9月3～4日	富山県社会福祉法人めひの野園 施設見学	うさか寮施設長	2人
12月15日	令和元年度職場のメンタルヘルス研修会	常磐大学人間科学部心理学科 教授 秋山 邦久氏	1人

#### ③ 一般研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
10月10～11日	第二回地域共生社会全国推進サミット	衆議院議員 橋本 岳氏 ほか	2人
10月23日	H31湯沢市雄勝郡社会福祉入所施設協議会研修	雄勝中央病院 感染管理認定看護師 吉田 牧子氏	2人

## 支援センター御所野

### 1 事業所内研修

#### (1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
4月1～5日	新任職員研修	支援センター御所野職員	10人

#### (2) 特別研修

##### ① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
6月14日	救命講習 AED操作 心肺蘇生法	秋田南消防署 指導員 佐々木 氏	7人
6月28日 7月5日	介護技術研修 特定利用者の介助方法 腰痛ストレッチ	日本赤十字秋田短期大学 介護福祉学科 佐藤 沙織 氏 ほか	16人
7月17日	ケース記録に係る研修	支援センター御所野職員	13人

##### ② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
1月27～30日	障害者虐待防止・権利擁護研修 (伝達研修)	支援センター御所野職員	23人

##### ③ 一般研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
9月18日 9月25日	健康増進セミナー	住友生命秋田支社 秋田南支部 支部長 間野 博之 氏	12人

### 2 法人外研修

#### (1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
11月12～13日	福祉保健施設・事業者等職員新任研修	特別養護老人ホーム ビハーラ横手 総括施設長 鈴木 卓 氏 ほか	2人
12月17～18日	キャリアパス対応生涯研修 (チームリーダー研修)	C & P, etc. 代表 尾崎 眞三 氏	1人

#### (2) 特別研修

##### ① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
8月2日・28日 ～29日	秋田県相談支援従事者現任研修	県障害福祉課 南野 久男 氏	1人
9月17日	施設給食担当職員研修	県リハビリテーション・精神医療センター 栄養管理室主任 武藤 直将 氏 ほか	1人
9月10日	障害者理解促進研修	県障害福祉課 安岡 智彦 氏	1人
9月11～12日	強度行動障害支援者養成研修基礎研修	県障害福祉課 草薙 史子 氏 ほか	1人
9月19日	地域講演会 (コロニー)	秋田大学 准教授 鈴木 徹 氏	3人
10月8～9日	強度行動障害支援者養成研修実践研修	県障害福祉課 田口 智生 氏 ほか	1人
10月10日	秋田市感染症予防研修会	医療法人博通会澤口医院 理事長 澤口 博 氏 ほか	1人
10月31日 ～11月1日 11月26～27日	安心・安全な介護技術教室基本編	生活とリハビリ研究所研究員 代表 三好 春樹 氏	2人
11月28日	雇用管理セミナー	秋田公共職業安定所 所長 津川 光也 氏 ほか	1人
1月15日	社会福祉施設における労働災害防止等研修会	秋田労働基準監督署 第一方面 労働基準監督官 尾野 嘉祐 氏 ほか	1人

##### ② 一般研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
12月19～20日	共生社会フォーラムin岩手	認定特定非営利活動法人抱撲 奥田 知志 氏 ほか	1人

## 秋田県点字図書館

### 1 事業所内研修

#### (1) 階層別研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
4月	転入職員研修	点字図書館職員	1人
7月	新任職員研修（令和元年7月新規任用職員）	点字図書館職員	1人

#### (2) 特別研修

##### ① 一般研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
6月20日	ホームページ更新技術習得研修	事務局職員	8人
7月25日	秋田県点字図書館の機能強化等について	点字図書館職員	8人
11月27日	障害及び障害者への理解促進研修	点字図書館職員	8人
12月11日	接遇研修	秋田県心身障害者コロニー 創生支援課 主任 戸嶋 里子 氏	8人

### 2 法人外研修

#### (1) 特別研修

##### ① 能力開発研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
6月6～7日	「第49回東北・新潟・北海道ブロック点字図書館等連絡協議会 施設長・担当者会議」	国立研究開発法人 理化学研究所 生命機能科学研究センター 網膜再生医療研究開発プロジェクト 上席研究員 仲泊 聡 氏 ほか	2人
7月11～12日	「2019年度 サビエ研修会」	全国視覚障害者情報提供施設協会 理事長 竹下 亘 氏 ほか	1人
7月27～28日	視覚障害者向け生活用具・機器展示会	神戸アイセンター病院 眼科医 三宅 琢 氏	1人
8月30～31日	令和元年度点字指導員講習会	日本点字委員会会長 渡辺 昭一 氏 ほか	1人
9月3～4日	2019年度 読売光と愛の事業団助成 「ロービジョン機器取扱者研修会」	神戸アイセンター病院他 心理カウンセラー 田中 桂子 氏	2人
9月10日	令和元年度 障害者理解促進（事業者向け）研修会	秋田県健康福祉部障害福祉課 副主幹 安岡 智彦 氏 ほか	2人
9月12～13日	「第49回東北・新潟・北海道ブロック点字図書館等連絡協議会 音訳部会研修会」	全視情協録音委員会 前委員長 小林 妙子 氏	3人
9月12～13日	福島県点字図書館 山形県立点字図書館 視察見学	福島県点字図書館 館長 中村 雅彦 氏 ほか	1人
10月3～4日	第45回全国視覚障害者情報提供施設大会	全国視覚障害者情報提供施設協会 理事長 竹下 亘 氏 ほか	3人
1月31日	2019年度 テキストデイジー 担当職員研修会	全国視覚障害者情報提供施設協会 電子書籍委員会 委員長 神 尚喜 氏 ほか	1人

##### ② 意識改革研修

開催月日	研修内容	講師	参加人員
12月20日	コロニー視察研修	コロニー 管理課長 柴田 省吾 氏	3人

## 8. 苦情解決処理状況

### (1) 施設別件数

区 分	(職員の接遇等) サービスの内容	(サービスの質・量) サービスの内容	説明・情報提供	施設・設備	制度・政策	金 銭	被 害・損 害	権 利 侵 害	そ の 他	計	(継続中の件数) 苦情解決結果
北部老人福祉総合エリア										0	0
中央地区老人福祉総合エリア							1			1	0
南部老人福祉総合エリア	1	1	2							4	0
高清水園							1			1	0
心身障害者コロニー										0	0
由利本荘地域生活支援センター	4									4	0
阿桜園			1							1	0
やまばと園	1	2								3	0
障害者支援センター御所野										0	0
点字図書館										0	0
計	6	3	3	0	0	0	2	0	0	14	0

### (2) 苦情の主な内容

	内容の分類	件数	割合	苦情内容	解 決 策
利用施設	説明・情報提供	2	40%	チャレンジ教室申込で参加の可否の連絡がなく、当日参加できなかったことについて	参加の可否の通知をハガキで行うことを徹底する。また、参加可否の通知が届いていない場合の連絡を参加申込書に記載する。
障がい施設・老人施設	サービス内容 (職員の接遇等)	5	56%	世話人の対応について	職員の対応が不適切であることを謝罪し、改善のための注意喚起を実施したことを説明した。
	サービス内容 (サービスの質と量)	2	22%	帰省準備の対応が不十分であったことについて	職員の対応が不十分であることを謝罪し、再発防止に努めることを説明した。
	説明・情報提供	1	11%	帰省時利用者の足に腫れがあったことを説明しなかったことについて	帰省時通院結果を報告しなかったことを謝罪し、今後は書面でも報告することを説明し、了承を得る。

### (3) 過去5年間における苦情件数の推移

年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件 数	22	22	23	19	14

(4) 苦情解決処理委員会の開催状況

施設名	開催日	出席者人数	会議内容
北部老人福祉総合エリア	令和2年3月11日	・第三者委員2名 ・職員2名	・令和元年度苦情解決処理状況 ・令和元年度顧客満足度調査結果 ・第三者委員による助言、意見交換 ・令和元年度事業実施状況
中央地区老人福祉総合エリア	令和2年3月4日	・第三者委員2名 ・職員2名	・苦情解決処理状況 ・顧客満足度調査報告 ・第三者委員からの助言、意見交換 ・令和元年度利用状況
南部老人福祉総合エリア	令和2年3月3日	・第三者委員2名 ・職員8名	・苦情内容及び解決報告 ・第三者委員による助言、意見交換
高清水園	令和2年3月18日	・第三者委員2名 ・職員3名	・高清水園の運営状況 ・令和元年度苦情解決結果報告 ・令和元年度「なんでも相談」実施状況 ・第三者委員との意見交換
心身障害者コロニー	令和2年3月24日	・第三者委員2名 ・職員10名	・各部署より苦情処理状況報告 ・第三者委員より講評と助言
由利本荘地域生活支援センター	令和2年3月12日	・第三者委員2名 ・職員8名	・苦情処理状況報告 ・第三者委員より講評と助言
阿桜園	令和2年2月28日	・第三者委員3名 ・職員8名	・令和元年度の苦情状況について ・第三者委員との意見交換
やまばと園	毎月12回実施	・職員8名	・各寮の状況について ・苦情受付状況について ・何でも聞きます会について
	令和2年2月26日	・第三者委員2名 ・親の会代表委員2名 ・職員9名	・令和元年度苦情解決状況について ・質疑応答 ・第三者委員からの助言 ・親の会代表委員からの助言
支援センター御所野	令和2年3月11日	・第三者委員2名 ・職員5名	・令和元年度苦情申出・解決状況の報告 ・第三者委員より講評と助言
点字図書館	令和2年3月11日	・第三者委員2名 ・職員2名	・令和元年度苦情解決処理状況 ・令和元年度顧客満足度調査報告 ・第三者委員講評

## 9. 虐待防止委員会の開催状況

### 虐待防止委員会の開催状況

施設名	開催日	出席者人数	会議内容
南部老人福祉総合エリア	平成31年4月23日	・職員 4名	・虐待防止に取り組む姿勢、標語の掲載月の選定
	令和1年7月9日	・職員 4名	・虐待防止チェックリスト、職員アンケートの実施について連絡
	令和1年10月8日	・職員 4名	・アンケートの集計結果の検証 職員の行動を振り返る研修を計画する ・1月まで利用者の名前を呼びかけて、あいさつを行い効果の検証をする
	令和2年1月27日	・職員 7名	・名前を呼びあいさつを継続する ・職員の意識啓発に向けた取り組み
	令和2年2月25日	・職員 6名	・虐待防止の取組みのアンケート結果 標語を継続し職員の意識を高めていく
	令和2年3月3日	・職員 7名 ・第三者委員 3名	・虐待防止委員との委員会 虐待事例のなかったことの報告 講評と意見交換の実施
高清水園	5・7・8・10・1(2回)・3月実施	・職員 5～8名	・虐待防止研修計画について ・虐待防止チェックリストについて ・虐待防止チェックリストの集計結果について ・虐待防止の取組みについて ・虐待防止に伴う保護者アンケート実施について ・虐待防止に伴う保護者アンケート集計結果、検証、特記事項記載への対応について ・次年度チェックリストの方法について
	令和2年3月18日	・職員 4名 ・第三者委員 1名 ・利用者 1名	・虐待防止チェックリストの結果について ・虐待防止に伴うアンケート実施結果について ・第三者委員講評
心身障害者コロニー	令和1年9月27日	・職員 11名	・虐待防止チェックリストの調査結果について ・今後の対応について ・開成支援課の事案について
	令和1年11月11日	・職員 8名	・各課の虐待防止に向けた具体的な取り組みについて ・コロニーの虐待防止に向けた具体的な取り組みについて
	令和1年12月12日	・職員 8名	・由利本荘市福祉支援課による虐待に関しての聞き取りについて ・各課の虐待防止に向けた具体的な取り組みについて
	令和1年12月19日	・職員 11名	・令和元年度 虐待防止チェックリストの結果について
	令和1年12月23日	・職員 9名	・由利本荘市福祉支援課による虐待に関しての聞き取りについて
	令和1年12月26日	・職員 10名	・虐待が疑われる案件の報告について ・虐待防止に向けた具体的な取り組みについての進捗状況 ・障害福祉サービス事業者等における事故報告について

施設名	開催日	出席者人数	会議内容
心身障害者コロニー	令和2年1月10日	・職員10名	・虐待が疑われる案件等について
	令和2年1月17日	・職員10名	・虐待が疑われる案件等について
	令和2年2月10日	・職員11名 ・第三者委員3名 ・利用者2名	・虐待が疑われる事案について ・今後の対応策について ・虐待防止委員より講評と助言
	令和2年2月12日	・職員7名	・令和元年度第2回虐待防止マニュアルに基づく自己点検について
	令和2年3月18日	・職員9名	・虐待が疑われる案件等について ・第2回虐待防止チェックリストの結果について
	令和2年3月24日	・職員11名 ・第三者委員2名 ・利用者2名	・虐待が疑われる事案について ・今後の対応策について ・虐待防止委員より講評と助言
由利本荘地域生活支援センター	令和1年9月13日	・職員11名	・虐待チェックリストの集計結果について
	令和1年9月26日	・職員11名	・虐待チェックリストの集計結果からの今後の課題について
	令和1年11月5日	・職員4名	・改善策について、チェック機能の強化、職員個々のレベルアップについて
	令和1年11月16日	・職員4名	・再アンケート結果について
	令和2年1月16日	・職員7名	・再アンケート結果について
	令和2年2月13日	・職員4名	・利用者、保護者への虐待に関するアンケート結果について
	令和2年2月25日	・職員6名	・利用者、保護者への虐待に関するアンケート結果について
	令和2年3月12日	・保護者1名 ・利用者1名 ・第三者委員2名 ・職員13名	・第三者委員への報告
阿桜園	令和2年2月28日	・第三者委員1名 ・利用者1名 ・保護者1名 ・職員12名	・「秋田県社会福祉事業団虐待防止チェックリスト」に基づく自己点検結果について ・虐待防止に向けた取り組みについて ・意見交換
やまばと園	毎月実施	・職員7～9名	・各寮の状況について ・令和元年度の取組について ・虐待防止チェックの結果について ・虐待防止チェック検証研修の結果について ・第2回虐待防止チェックの実施、結果について
	令和2年2月26日	・第三者委員2名 ・親の会代表委員2名 ・職員9名	・令和元年度虐待防止への取組について ・質疑応答 ・第三者委員からの助言
支援センター御所野	令和元年8月16日 令和元年9月9日 令和元年10月2日 令和元年12月19日	・職員3名	・委員構成、役割、マニュアル、チェックリストの実施について ・令和元年度チェックリスト集計結果と結果対応について ・チェックリスト集計結果に基づく検証と分析 ・追加アンケートの内容
	令和2年3月11日	・第三者委員2名 ・職員6名	・法人の虐待防止に対する取り組み方及び組織強化について説明 ・虐待チェックリストによる自己点検結果について

## 10. ハイクオリティサービス推進システム

項目	内容
マネジメントレビュー	マネジメントレビューは、理事長からの指示に基づき各施設長がサービス改善に取り組むもので、今年度は下記の2点について実施した。
① 利用者の意思を十分に反映した個別支援計画の策定について 各施設とも利用者個々に応じたコミュニケーション方法やチームアプローチに基づき、明確な意思表示が難しい利用者には日頃の表情や取り組み状況を参考にしながら計画の策定に取り組んだ。	
② 虐待防止の取組について 虐待防止チェックリストの結果、不適切な支援が明らかになるが検証が遅れてしまった。 また、市町村へ虐待通報の事例があり、県や市からの監査・調査が入ることとなった。 今後は、法人として虐待防止・権利擁護に関するより一層の強化を図ることが課題として残った。	
自己評価	事業団自己評価基準に基づき、全職員が毎年一回実施し、その結果からサービス改善に向け取り組んだ。
【コロニー】 動作制限に対して、制限する時間が短くなるよう取り組んだ。 また、グループホームの職員や世話人、宿直員の知識や技術向上のため避難訓練の回数を増やした。 【やまぼと園】 職員の障がいの理解と支援技術の向上のため、接遇マナーや介護技術研修を実施した。	
内部監査	ハイクオリティサービス推進システムに定められた規格類やマニュアルが適切に運用されているかを毎年一回監査し、書類及びヒアリングによる確認を実施した。
○ 軽微な指摘 2件 ・動作制限に係る個別支援計画への反映不足 ・ケース記録の未整備 ○ 観察事項 12件 ・虐待防止チェックリストに係る検証不足 ・市町村へ事故報告書の未提出 など	
ヒヤリ・ハット報告	総計687件（令和元年度は625件）
	・誤薬に関して、施設内ルール・マニュアルに沿った支援の不徹底、不規則な勤務体制の中でも防止策の周知徹底ができるような体制作りが必要との声が挙がっている。 ・アクシデント報告が多く、今後、インシデントにどのように気付き、それらを共有していくのが課題である。

## 11. 地域密着型サービス外部評価事業

「認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）」は、サービスの質の向上とサービスを利用する際の選択に役立つ情報提供の推進を図ることを目的とし、年1回の外部評価の受審が義務付けられている。

秋田県社会福祉事業団は、秋田県から外部評価機関としての指定を受け、平成17年から外部評価業務を実施しており、調査員は医療・保健・福祉の実務経験者等35名で構成され、令和元年度は62事業所を訪問して評価を行った。

### 審査委員会

開催日	内容
令和元年6月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度地域密着型サービス外部評価事業についての説明</li> <li>「事業所アンケート」集計結果報告</li> <li>「家族アンケート」集計結果報告</li> </ul>